

印西市  
地域福祉に関するアンケート調査  
調査結果報告書

平成 28 年 8 月

印 西 市



# 目次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>2</b>
1	回答者属性 .....	2
2	お住いの地域について .....	5
3	地域での助け合いについて .....	18
4	災害について .....	35
5	地域福祉の推進について .....	38
	【ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価】 .....	43



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

第3次地域福祉計画の策定に先立ち、市民に地域福祉について、日常生活の現状や意識、福祉サービスや地域づくりに関するご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料として調査を実施するものです。

## 2 調査対象

印西市在住の20歳以上を無作為抽出

## 3 調査期間

平成28年5月31日から平成28年6月15日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,539通	51.3%

## 6 調査結果の表示方法

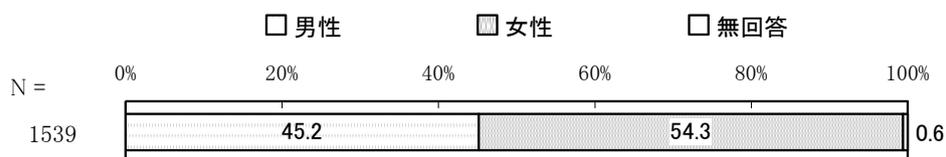
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果

### 1 回答者属性

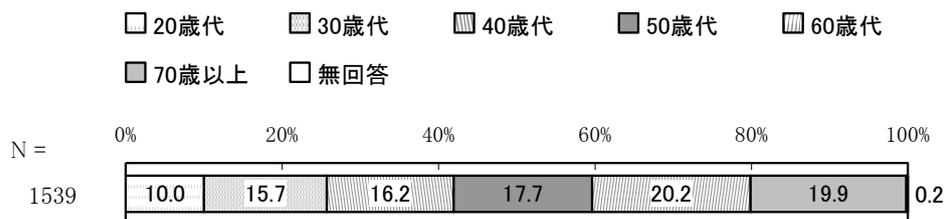
#### F 1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

「男性」の割合が45.2%、「女性」の割合が54.3%となっています。



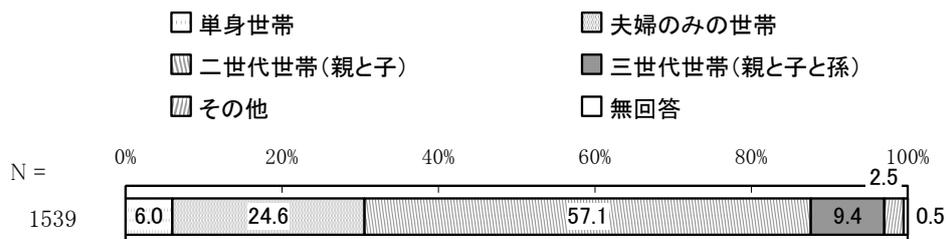
#### F 2 あなたの年齢はおいくつですか。(〇は1つ)

「60歳代」の割合が20.2%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が19.9%、「50歳代」の割合が17.7%となっています。



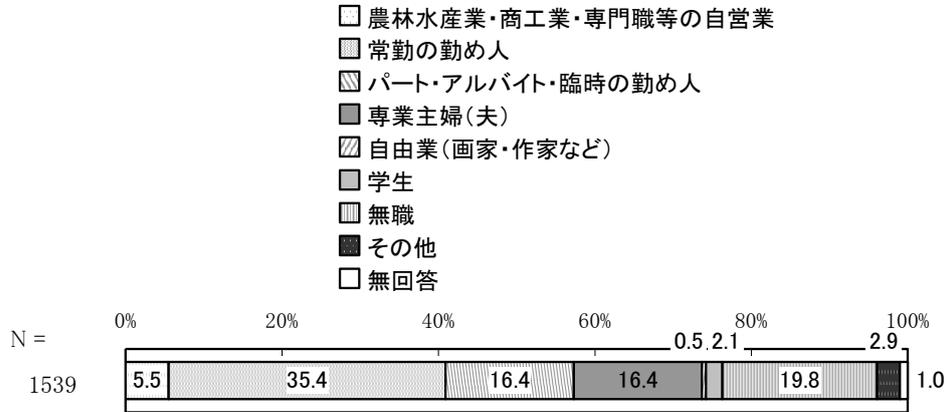
#### F 3 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。(〇は1つ)

「二世帯世帯(親と子)」の割合が57.1%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の割合が24.6%となっています。



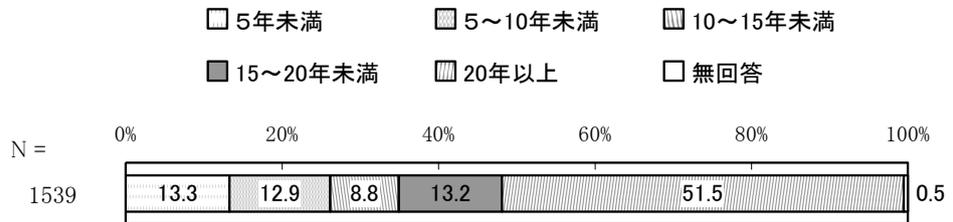
**F 4 あなたの職業は次のうちどれですか。(〇は1つ)**

「常勤の勤め人」の割合が35.4%と最も高く、次いで「無職」の割合が19.8%、「パート・アルバイト・臨時の勤め人」、「専業主婦(夫)」の割合が16.4%となっています。



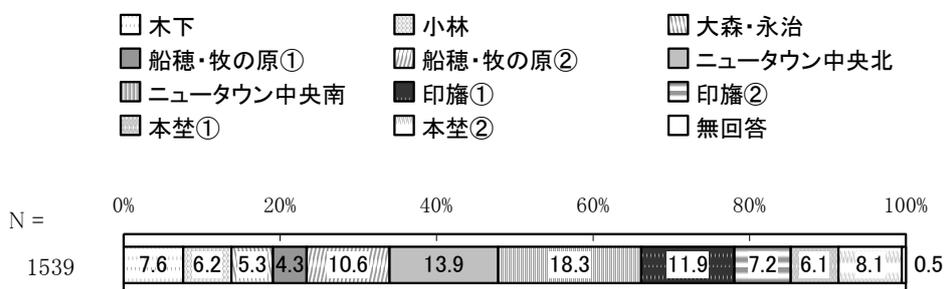
**F 5 あなたの印西市(旧印旛村、日本埜村を含む)での居住年数はどのくらいですか。(〇は1つ)**

「20年以上」の割合が51.5%と最も高く、次いで「5年未満」の割合が13.3%、「15~20年未満」の割合が13.2%となっています。



**F 6 あなたの居住地区はどちらですか。(〇は1つ)**

「ニュータウン中央南」の割合が18.3%と最も高く、次いで「ニュータウン中央北」の割合が13.9%、「印旛①」の割合が11.9%となっています。



※地区の内訳は以下の通りです。

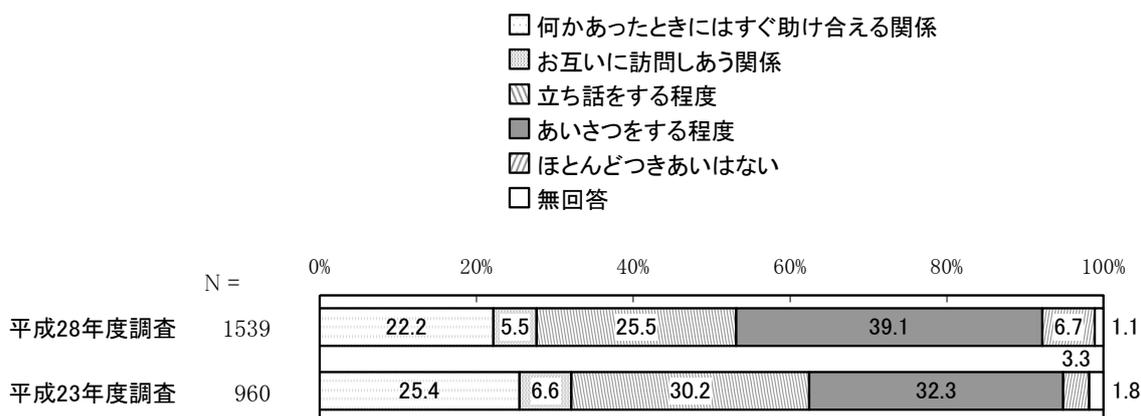
木下	木下、木下南1～2丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東1～4丁目、平岡
小林	小林、小林北1～6丁目、小林浅間1～3丁目、小林大門下1～3丁目
大森・永治	大森、鹿黒、鹿黒南1～5丁目、亀成、発作、相嶋、浅間前、浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
船穂・牧の原①	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台1～2丁目、結縁寺、多々羅田、草深、泉、泉野1～3丁目
船穂・牧の原②	西の原1～5丁目、原1～4丁目、東の原1～3丁目、牧の原1～6丁目、牧の台1～3丁目
ニュータウン中央北	小倉台1～4丁目、大塚1～3丁目、牧の木戸1丁目、木刈1～7丁目、中央北1～3丁目
ニュータウン中央南	内野1～3丁目、原山1～3丁目、高花1～6丁目、戸神台1～2丁目、中央南1～2丁目、武西学園台1～3丁目
印旛①	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫、岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田、つくりや台1～2丁目、平賀、平賀学園台1～3丁目
印旛②	美瀬1～2丁目、若萩1～4丁目、舞姫1～3丁目
本埜①	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木、みどり台1～3丁目、笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林、立埜原
本埜②	滝野1～7丁目

## 2 お住いの地域について

### 問1 あなたと隣近所とのつきあいはどの程度ですか。(○は1つ)

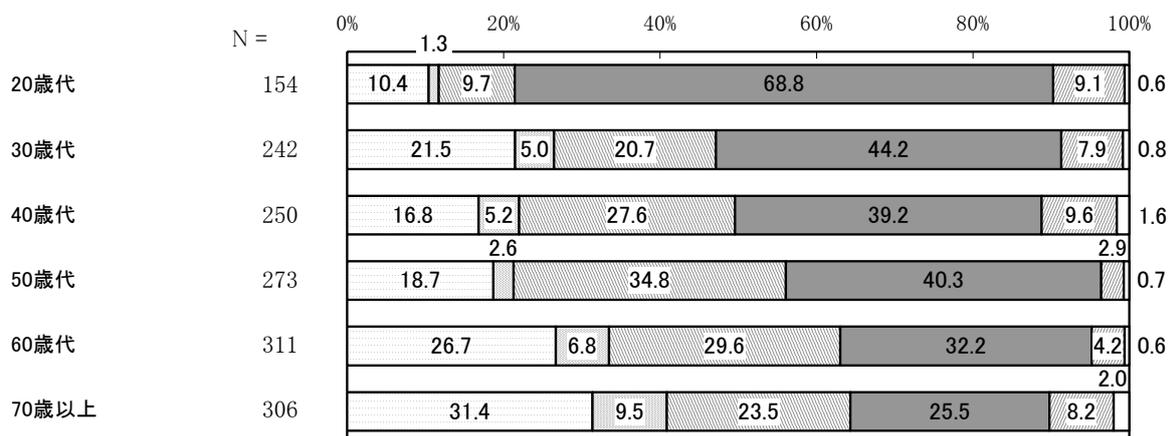
「あいさつをする程度」の割合が39.1%と最も高く、次いで「立ち話をする程度」の割合が25.5%、「何かあったときにはすぐ助け合える関係」の割合が22.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「あいさつをする程度」の割合が6.8ポイント増加しています。また、「立ち話をする程度」の割合は4.7ポイント減少しています。



#### 【年齢別】

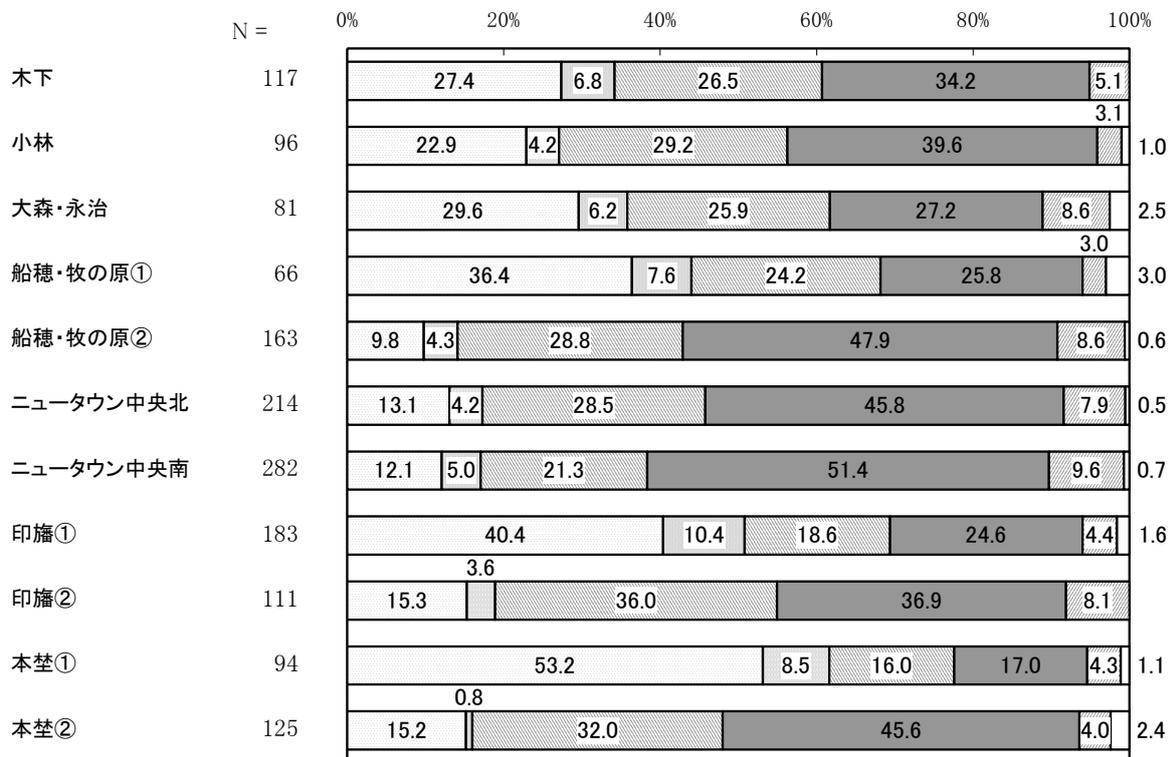
年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「あいさつをする程度」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、70歳以上で「何かあったときにはすぐ助け合える関係」の割合が高く、約3割となっています。



## 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、本埜①で「何かあったときにはすぐ助け合える関係」の割合が高く、約5割となっています。また、船穂・牧の原②、ニュータウン中央南で「あいさつをする程度」の割合が高く、約5割となっています。

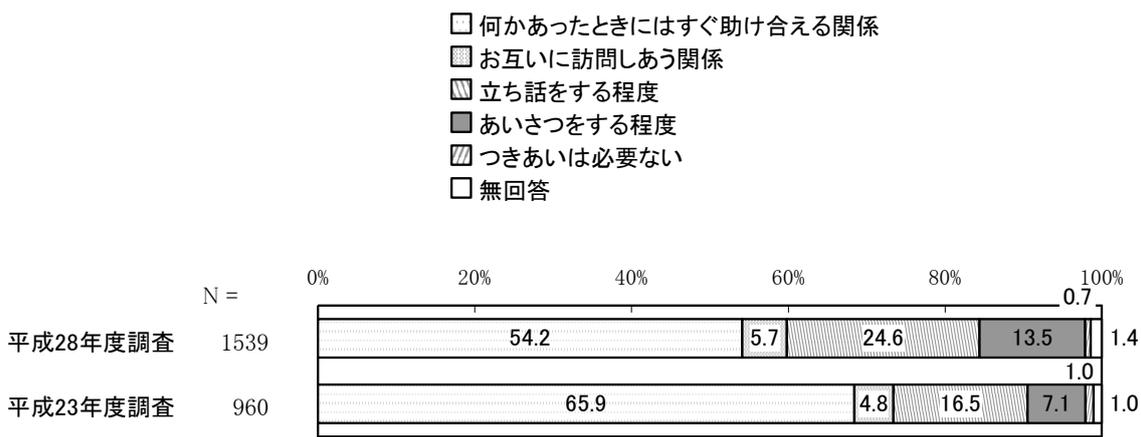
- 何かあったときにはすぐ助け合える関係
- ▨ お互いに訪問しあう関係
- ▩ 立ち話をする程度
- あいさつをする程度
- ▧ ほとんどつきあいはない
- 無回答



**問2 住みよいまちづくりに向けて、あなたはどの程度の近所づきあいが必要だと思いますか。(〇は1つ)**

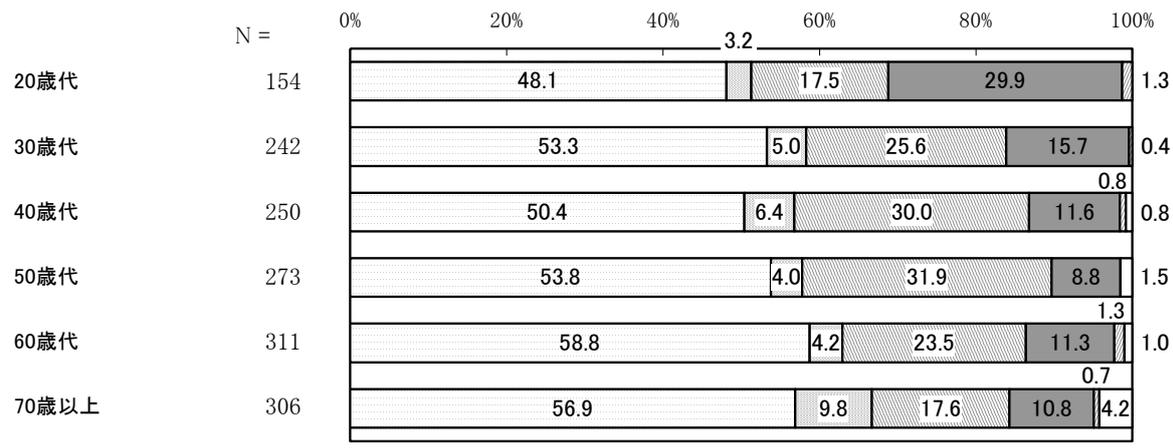
「何かあったときにはすぐ助け合える関係」の割合が54.2%と最も高く、次いで「立ち話をする程度」の割合が24.6%、「あいさつをする程度」の割合が13.5%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「何かあったときにはすぐに助け合える関係」の割合が11.7ポイント減少しており、「立ち話をする程度」が8.1ポイント、「あいさつをする程度」が6.4ポイント増加しています。



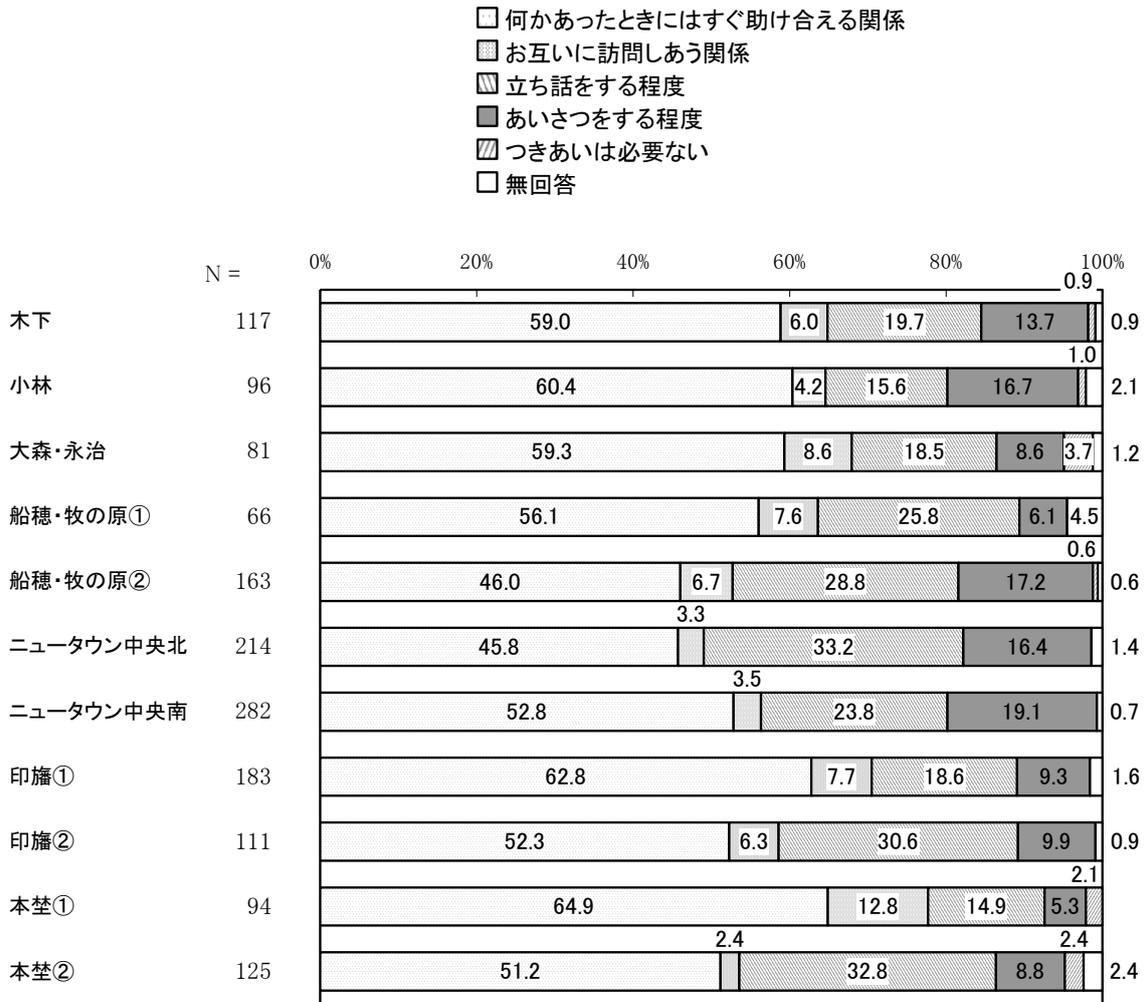
**【年齢別】**

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「何かあったときにはすぐ助け合える関係」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳以上で約6割となっています。また、年齢が低くなるにつれ「あいさつをする程度」の割合が高くなっており、20歳代で約3割となっています。



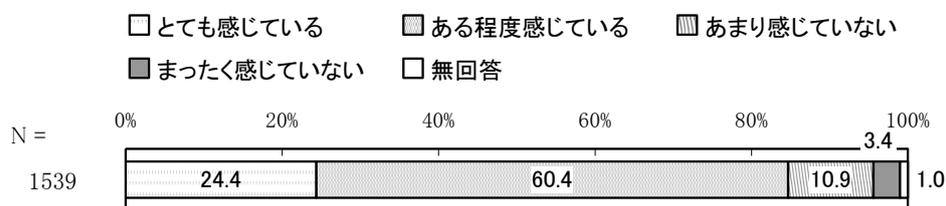
**【居住地区別】**

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、船穂・牧の原②、ニュータウン中央北で「何かあったときにはすぐ助け合える関係」の割合が低く、5割未満となっています。また、船穂・牧の原②、ニュータウン中央北、印旛②、本埜②で「立ち話をする程度」の割合が、小林、船穂・牧の原②、ニュータウン中央北、ニュータウン中央南で「あいさつをする程度」の割合が高くなっています。



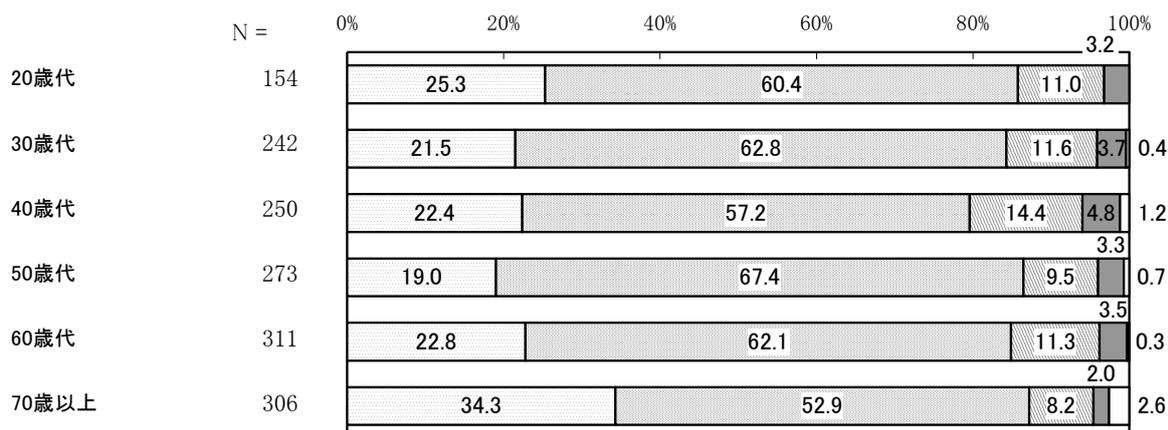
**問3 現在お住まいの地区に愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)**

「とても感じている」と「ある程度感じている」をあわせた“感じている”の割合が 84.8%、「あまり感じていない」と「まったく感じていない」をあわせた“感じていない”の割合が 14.3% となっています。



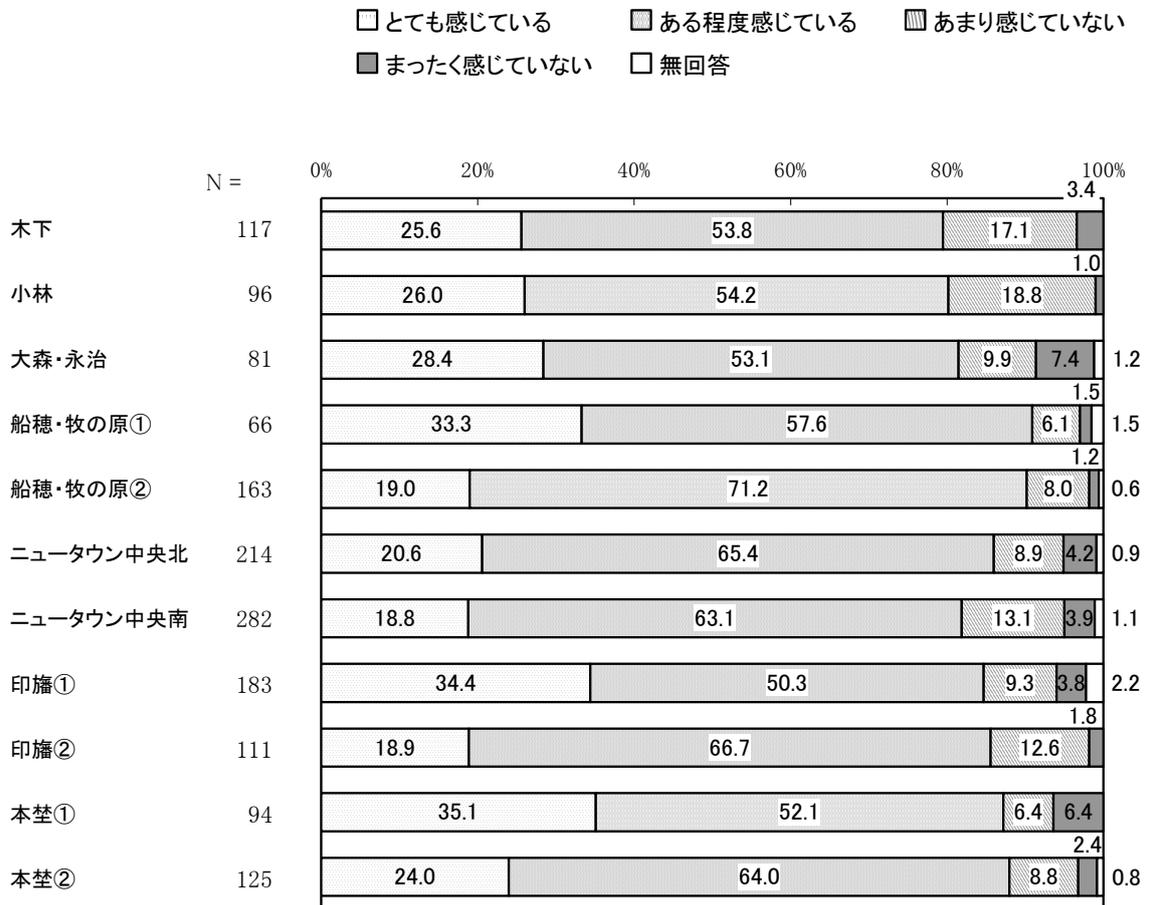
**【年齢別】**

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で「とても感じている」の割合が高く、3割を超えています。



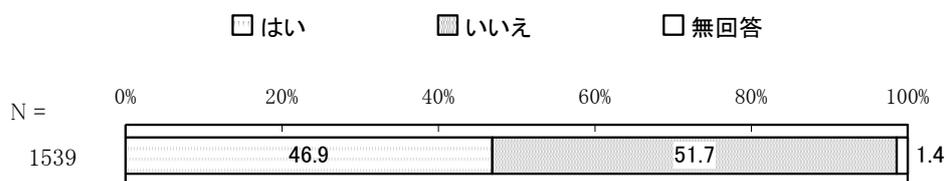
### 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、船穂・牧の原①、船穂・牧の原②、ニュータウン中央北、本埜①、本埜②で“感じている”の割合が高く、約9割となっています。また、木下、小林、大森・永治、ニュータウン中央南で“感じていない”の割合が高く、約2割となっています。



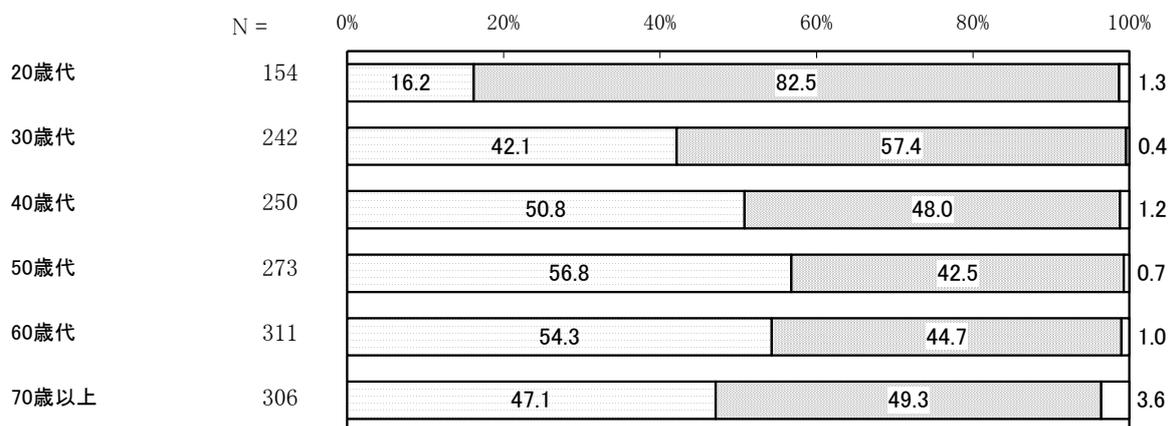
**問4 地域で活動を行うさまざまな組織・団体に加入していますか。(○は1つ)**

「はい」の割合が46.9%、「いいえ」の割合が51.7%となっています。



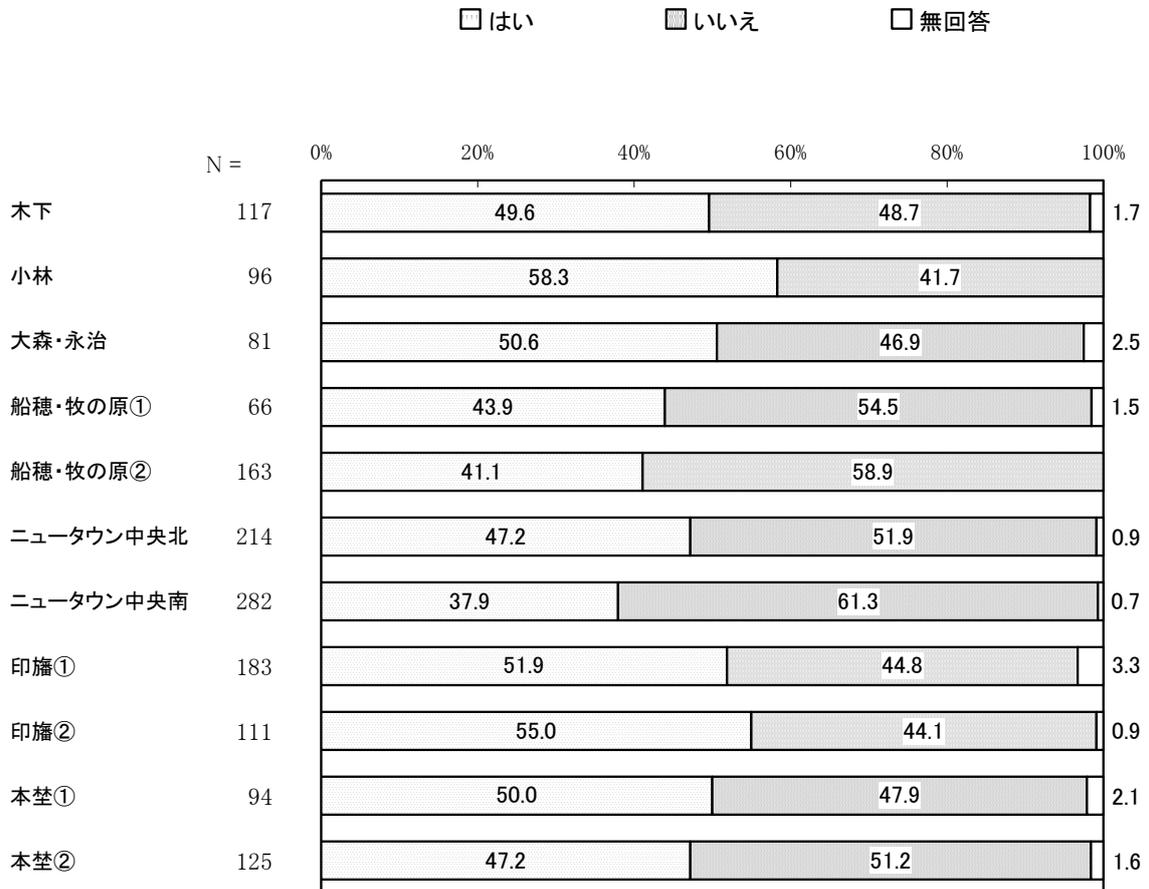
**【年齢別】**

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20歳代で「はい」の割合が低く、2割未満となっています。また、50歳代で「はい」の割合が高く、約6割となっています。



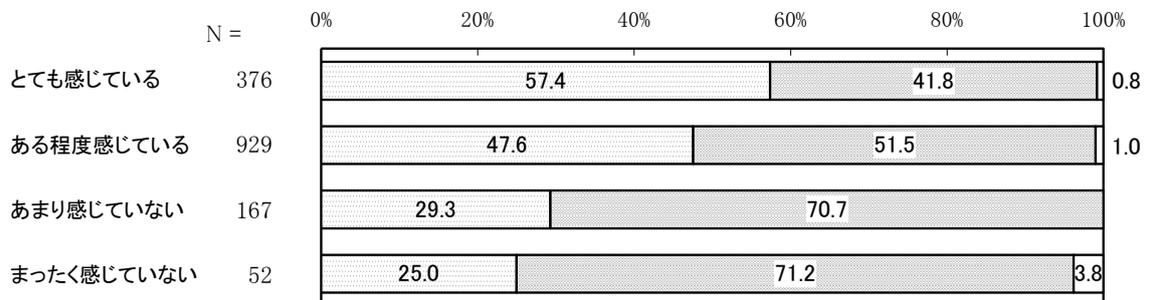
### 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、小林で「はい」の割合が高く、約6割となっています。また、船穂・牧の原②、ニュータウン中央南で「いいえ」の割合が高く、約6割となっています。



### 【愛着度別】

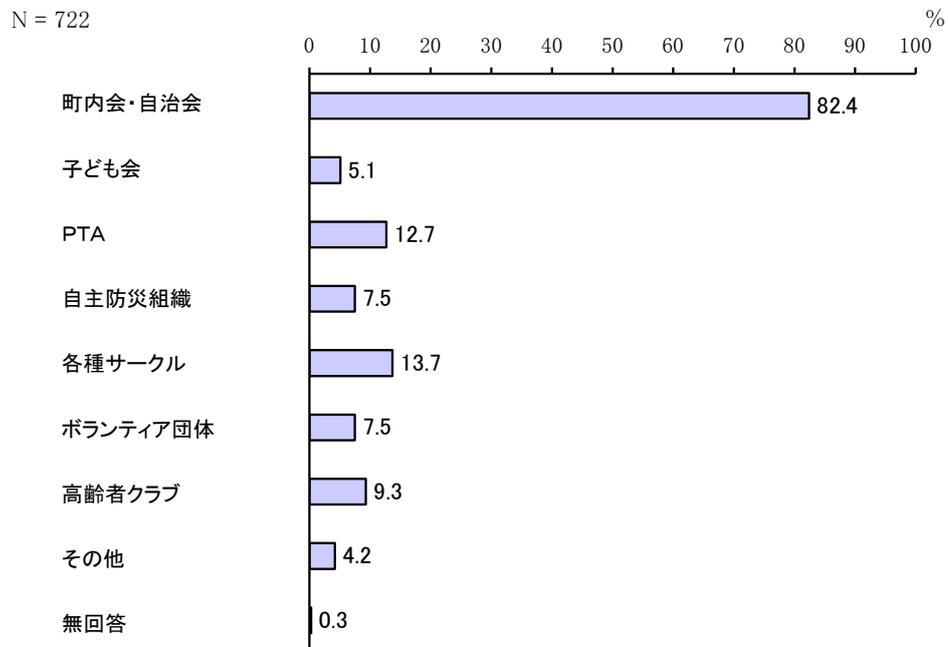
愛着度別で見ると、愛着を感じるにつれ「はい」の割合が高くなっています。



問4で「1. はい」と回答した方におうかがいします。

問4-1 加入している組織・団体は何ですか。(該当するものすべてに○)

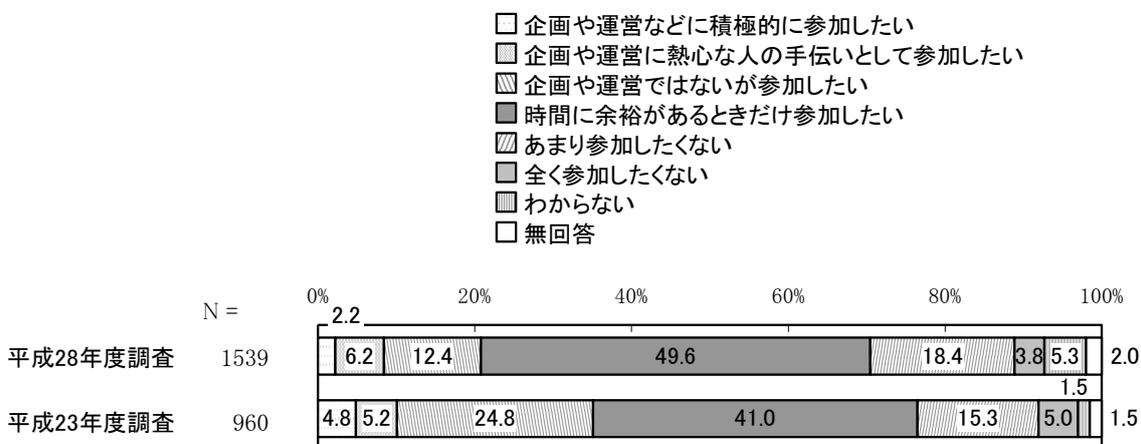
「町内会・自治会」の割合が82.4%と最も高く、次いで「各種サークル」の割合が13.7%、「PTA」の割合が12.7%となっています。



**問5 地域で行う行事や、組織・団体の活動には、どの程度参加したいですか。**  
(○は1つ)

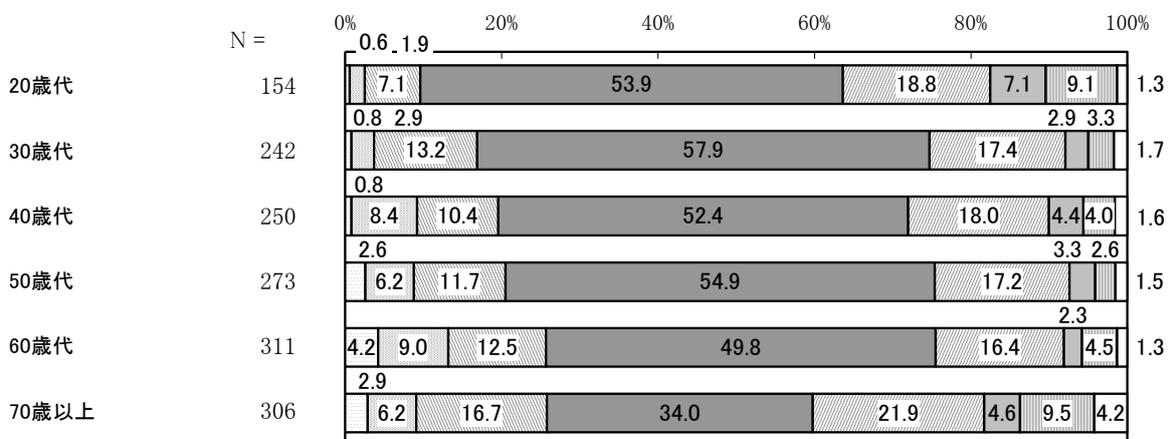
「時間に余裕があるときだけ参加したい」の割合が49.6%と最も高く、次いで「あまり参加したくない」の割合が18.4%、「企画や運営ではないが参加したい」の割合が12.4%となっています。また、「企画や運営などに積極的に参加したい」「企画や運営に熱心な人の手伝いとして参加したい」「企画や運営ではないが参加したい」「時間に余裕があるときだけ参加したい」をあわせた“参加したい”の割合が70.4%、「あまり参加したくない」「全く参加したくない」をあわせた“参加したくない”の割合が22.2%となっています。

平成23年度調査と比較すると、「企画や運営ではないが参加したい」の割合が12.4ポイント減少しています。また、「時間に余裕があるときだけ参加したい」の割合が8.6ポイント増加しています。



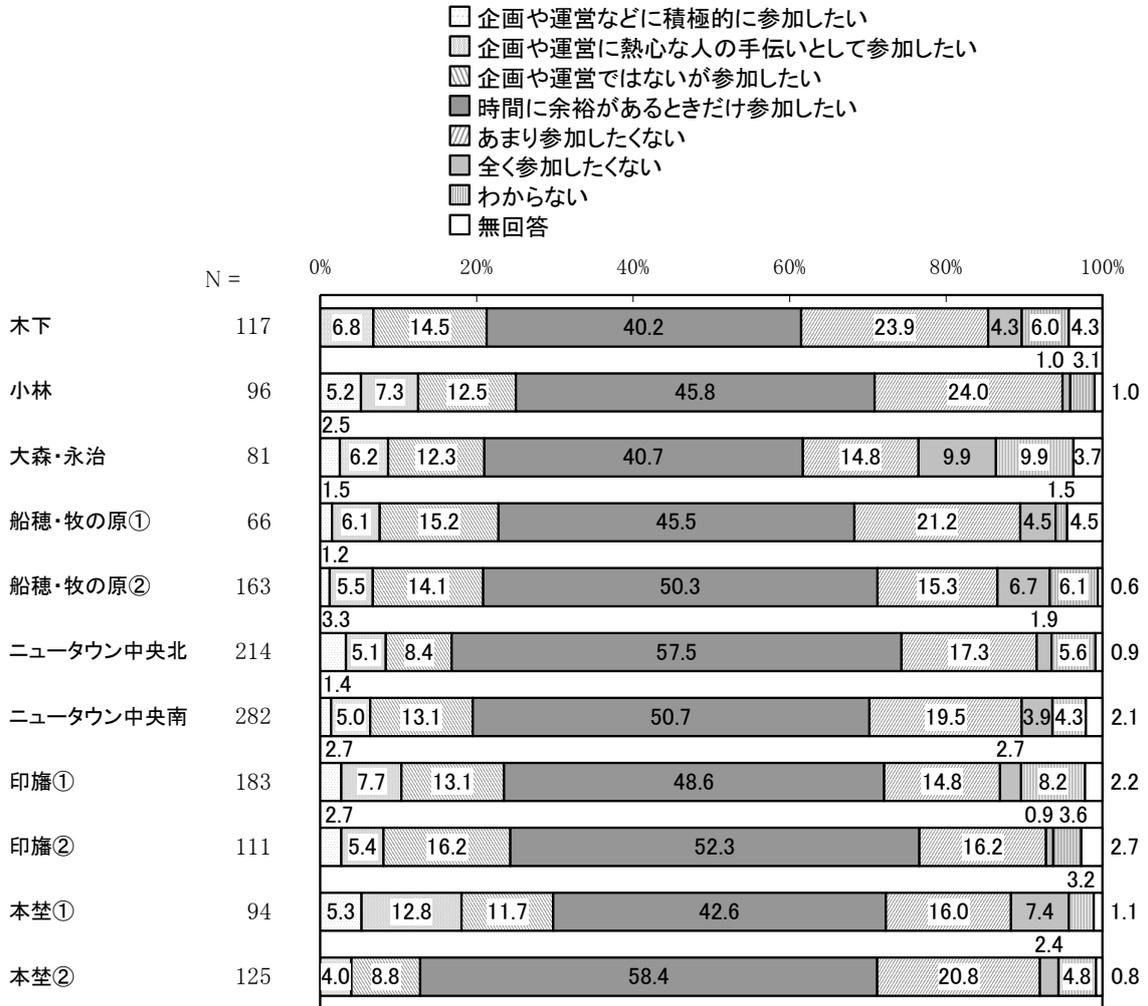
**【年齢別】**

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、20歳代、70歳以上で“参加したい”の割合が低く、約6割となっています。



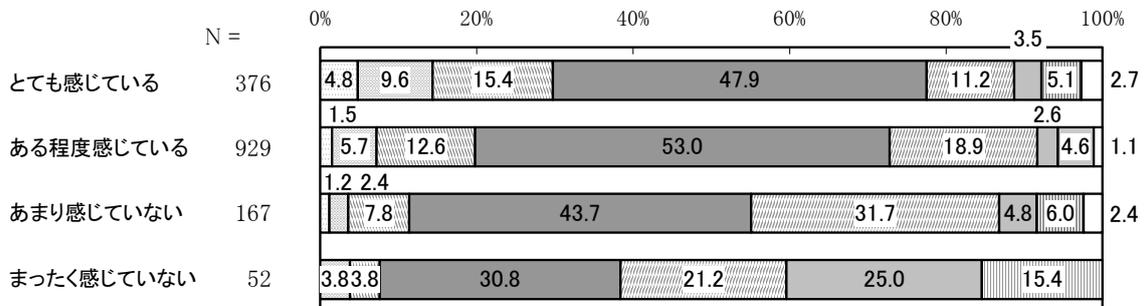
**【居住地区別】**

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、印旛②で“参加したい”の割合が高く、約8割となっています。また、木下で“参加したくない”の割合が高く、約3割となっています。



**【愛着度別】**

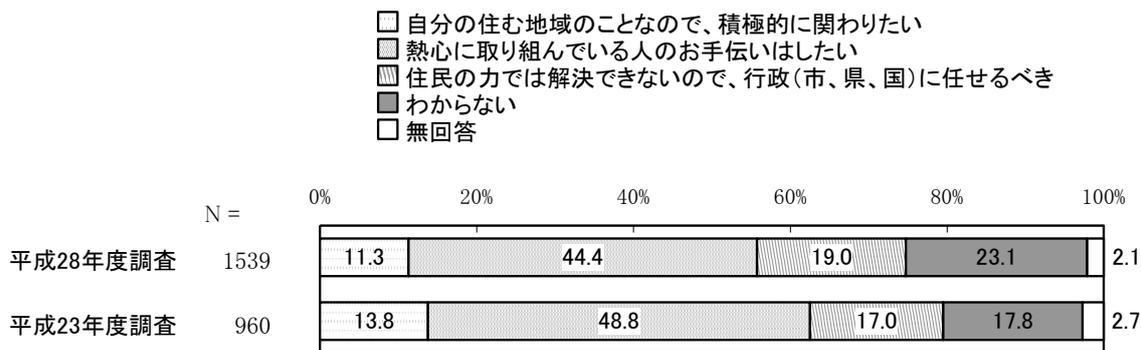
愛着度別で見ると、愛着を感じているほど“参加したい”の割合が高く、とても感じている人で約8割となっています。



**問6 自分たちの生活に関わる地域の問題に、あなた自身はどの程度関わるべきだと思いますか。(〇は1つ)**

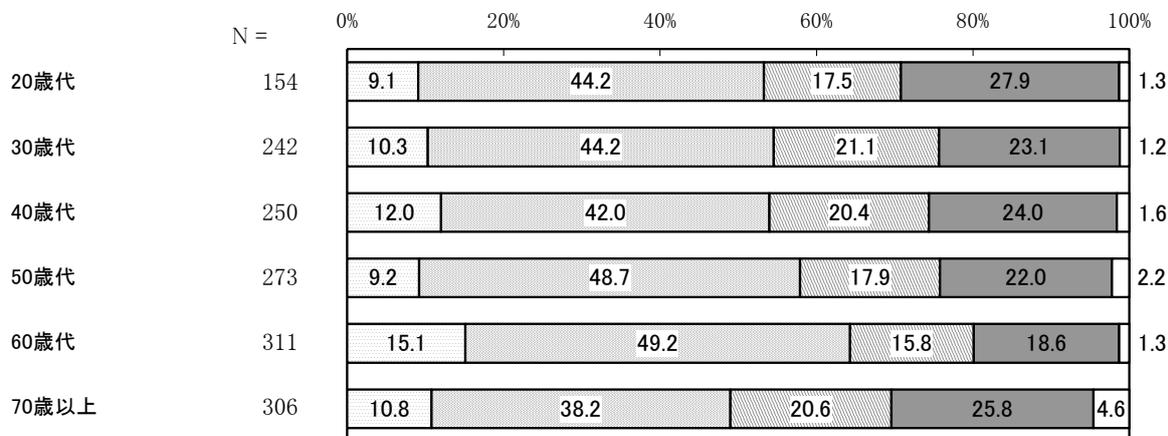
「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が44.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が23.1%、「住民の力では解決できないので、行政(市、県、国)に任せるべき」の割合が19.0%となっています。

平成23年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



**【年齢別】**

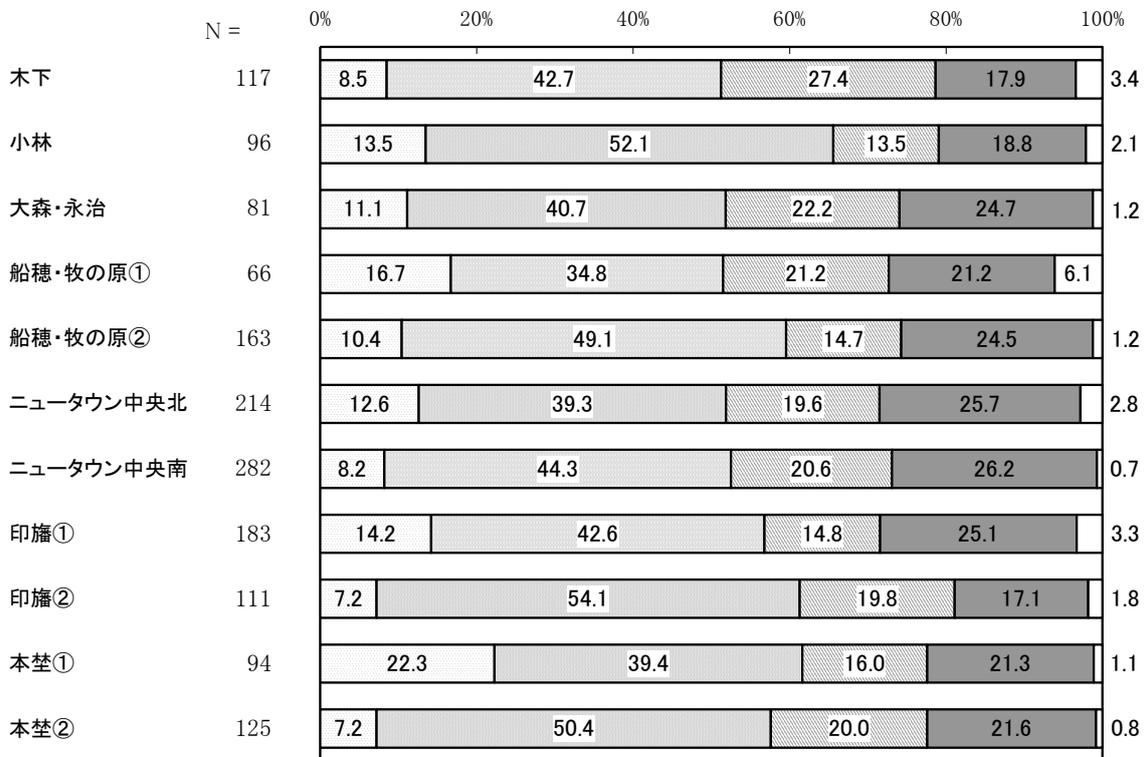
年齢別でみると、他の年齢に比べ、50歳代、60歳代で「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が高く、約5割となっています。



## 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、本埜①で「自分の住む地域のことなので、積極的に関わりたい」の割合が高く、2割を超えています。また、印旛②、小林、本埜②で「熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい」の割合が高く、5割を超えているほか、木下で「住民の力では解決できないので、行政（市、県、国）に任せるべき」の割合が高くなっています。

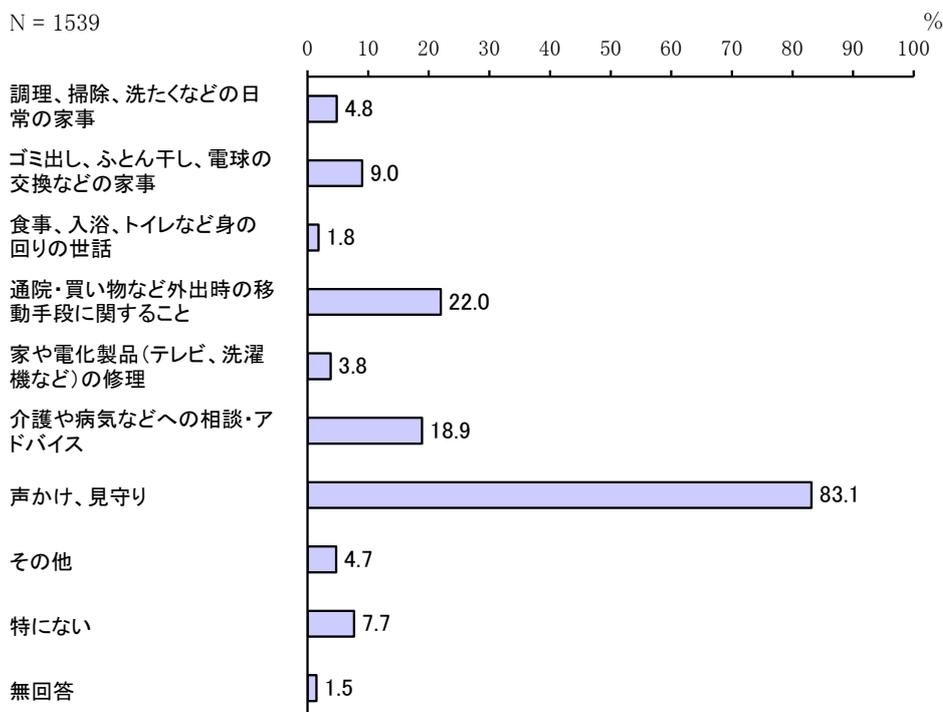
- 自分の住む地域のことなので、積極的に関わりたい
- 熱心に取り組んでいる人のお手伝いはしたい
- 住民の力では解決できないので、行政（市、県、国）に任せるべき
- わからない
- 無回答



### 3 地域での助け合いについて

問7 あなたは、地域での助け合いとしてイメージすることは、どのようなことがありますか。(該当するものすべてに○)

「声かけ、見守り」の割合が83.1%と最も高く、次いで「通院・買い物など外出時の移動手段に関すること」の割合が22.0%、「介護や病気などへの相談・アドバイス」の割合が18.9%となっています。



#### 【年齢別】

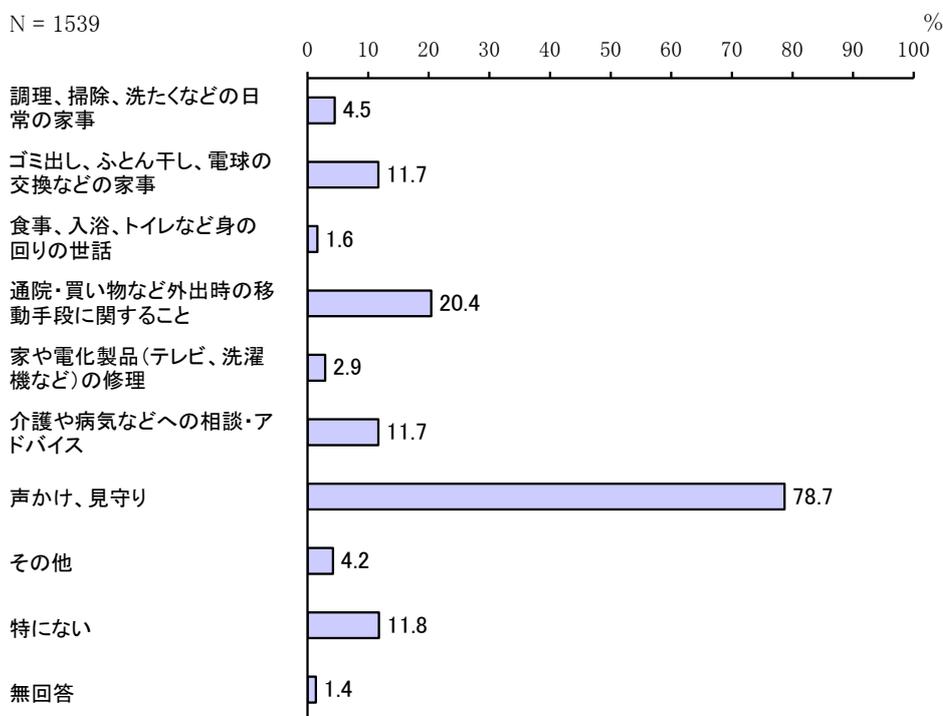
年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で「声かけ、見守り」の割合が低く、「ゴミ出し、ふとん干し、電球の交換などの家事」「特にない」の割合が高くなっています。また、20歳代で「介護や病気などへの相談・アドバイス」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	調理、掃除、洗たくなどの日常の家事	ゴミ出し、ふとん干し、電球の交換などの家事	食事、入浴、トイレなど身の回りの世話	通院・買い物など外出時の移動手段に関すること	家や電化製品(テレビ、洗濯機など)の修理	介護や病気などへの相談・アドバイス	声かけ、見守り	その他	特にない	無回答
20歳代	154	3.2	7.1	2.6	17.5	4.5	25.3	81.2	5.2	8.4	—
30歳代	242	2.1	2.9	0.4	15.7	2.9	20.7	88.8	4.5	6.2	0.4
40歳代	250	4.8	8.4	2.8	21.2	4.0	19.2	90.4	6.0	3.6	1.2
50歳代	273	3.7	7.3	0.7	23.4	4.0	19.0	85.7	4.0	7.3	0.4
60歳代	311	6.4	10.6	1.9	26.0	4.5	15.1	84.2	3.5	6.4	0.6
70歳以上	306	7.2	15.4	2.3	24.5	3.3	18.0	69.9	5.2	13.4	5.2

**問8 あなた自身は、地域での助け合いにおいて、どのような支援ができると思いますか。  
(該当するものすべてに○)**

「声かけ、見守り」の割合が78.7%と最も高く、次いで「通院・買い物など外出時の移動手段に関すること」の割合が20.4%、「特にない」の割合が11.8%となっています。



**【年齢別】**

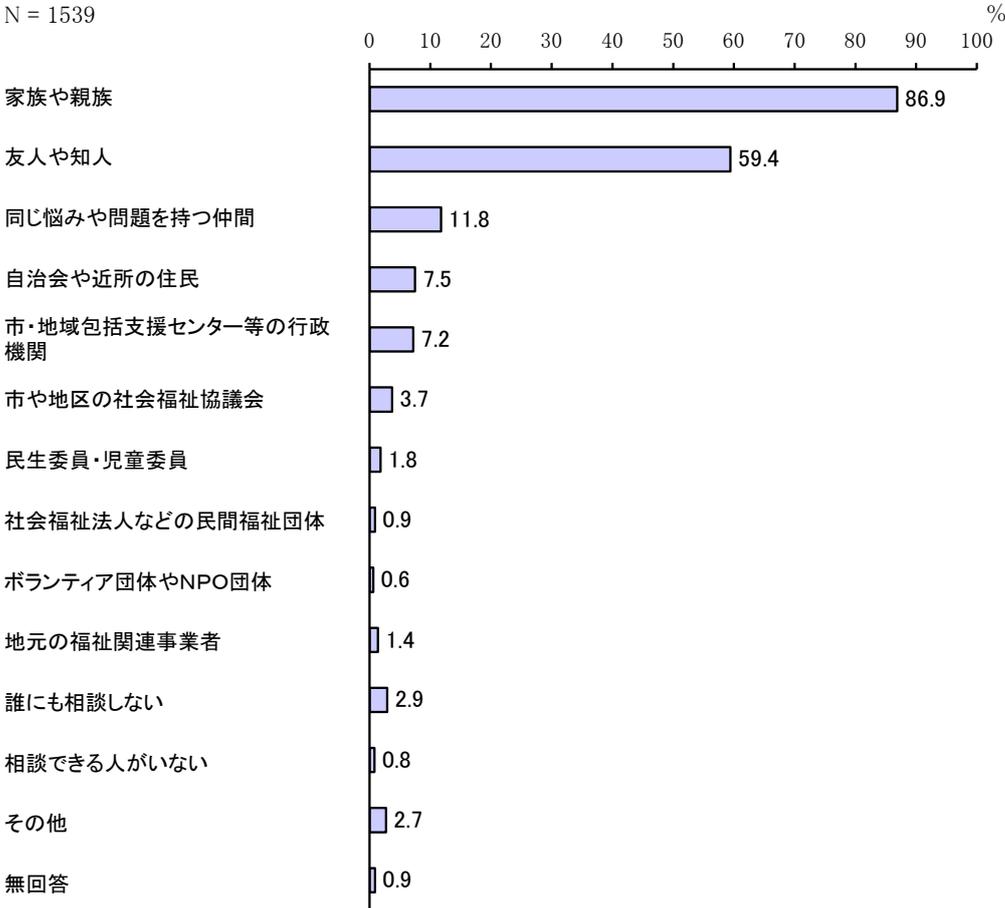
年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で「声かけ、見守り」の割合が低く、「特にない」の割合が高くなっています。また、50歳代、60歳代で「通院・買い物など外出時の移動手段に関すること」の割合が高く、2割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	調理、掃除、洗たくなどの日常の家事	ゴミ出し、ふとん干し、電球の交換などの家事	食事、入浴、トイレなど身の回りの世話	通院・買い物など外出時の移動手段に関すること	家や電化製品(テレビ、洗濯機など)の修理	介護や病気などへの相談・アドバイス	声かけ、見守り	その他	特にない	無回答
20歳代	154	2.6	9.1	2.6	11.0	0.6	11.0	76.0	1.9	15.6	—
30歳代	242	5.8	8.3	1.2	18.2	3.7	11.2	87.6	2.9	8.3	—
40歳代	250	2.4	10.0	1.6	19.6	2.8	12.8	84.4	6.4	11.2	—
50歳代	273	4.4	12.1	0.7	26.0	3.7	9.5	81.3	2.2	10.6	1.1
60歳代	311	6.4	13.2	1.9	25.1	4.5	11.9	78.8	2.9	9.3	1.6
70歳以上	306	4.6	15.4	1.6	18.0	1.3	13.4	65.7	7.5	17.0	4.6

問9 あなたは生活上の心配事や困り事について助言や手助けが欲しいときに誰に相談していますか。(〇は3つまで)

「家族や親族」の割合が86.9%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が59.4%、「同じ悩みや問題を持つ仲間」の割合が11.8%となっています。



## 【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代、40歳代で「家族や親族」の割合が、20歳代、30歳代で「友人や知人」の割合が高くなっています。また、70歳以上で「友人や知人」の割合が低く、「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	友人や知人	同じ悩みや問題を持つ仲間	自治会や近所の住民	市・地域包括支援センター等の行政機関	市や地区の社会福祉協議会	民生委員・児童委員	福祉団体	社会福祉法人などの民間福祉団体	NPO団体	ボランティア団体や地元の福祉関連事業者	誰にも相談しない	相談できる人がいない	その他	無回答
20歳代	154	83.1	68.8	17.5	1.3	1.9	1.3	—	—	0.6	—	3.9	0.6	4.5	—	
30歳代	242	94.2	73.6	15.7	5.0	7.4	1.7	—	0.4	0.8	0.4	0.8	0.4	2.9	—	
40歳代	250	90.4	65.2	15.2	6.8	3.2	0.8	—	—	0.4	—	3.2	—	2.8	1.2	
50歳代	273	86.1	58.2	9.9	9.9	7.7	5.1	1.1	0.4	1.1	2.2	2.6	1.5	1.8	0.7	
60歳代	311	84.2	58.8	10.0	10.3	9.3	4.5	2.3	1.0	—	1.3	3.2	1.9	2.6	0.6	
70歳以上	306	83.3	40.5	6.9	8.5	10.5	6.9	5.9	2.9	1.0	3.6	3.9	0.3	2.3	2.3	

## 【居住地区別】

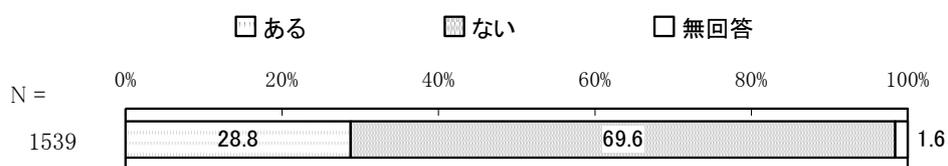
居住地区別でみると、他の地区に比べ、本埜①で「家族や親族」の割合が低く、8割未満となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族や親族	友人や知人	同じ悩みや問題を持つ仲間	自治会や近所の住民	市・地域包括支援センター等の行政機関	市や地区の社会福祉協議会	民生委員・児童委員	福祉団体	社会福祉法人などの民間福祉団体	NPO団体	ボランティア団体や地元の福祉関連事業者	誰にも相談しない	相談できる人がいない	その他	無回答
木下	117	86.3	59.8	9.4	6.8	6.0	4.3	3.4	1.7	0.9	1.7	2.6	0.9	2.6	—	
小林	96	87.5	55.2	11.5	7.3	6.3	5.2	5.2	—	1.0	2.1	3.1	1.0	4.2	3.1	
大森・永治	81	84.0	56.8	11.1	8.6	11.1	3.7	1.2	1.2	1.2	2.5	2.5	—	2.5	—	
船穂・牧の原①	66	93.9	69.7	9.1	9.1	1.5	3.0	1.5	1.5	—	—	—	—	1.5	—	
船穂・牧の原②	163	85.3	60.7	10.4	9.8	6.1	3.1	3.1	0.6	—	0.6	6.1	1.2	4.3	—	
ニュータウン中央北	214	87.9	64.0	11.2	7.0	7.9	3.3	2.8	1.4	0.5	0.9	3.3	0.5	0.9	0.5	
ニュータウン中央南	282	87.6	54.3	11.0	5.7	8.2	5.7	1.1	0.7	0.4	0.7	2.8	1.4	2.1	0.4	
印旛①	183	85.2	57.9	15.3	10.4	6.6	3.3	1.6	1.1	1.6	2.2	2.7	—	3.3	0.5	
印旛②	111	91.9	63.1	13.5	7.2	8.1	4.5	—	0.9	—	1.8	0.9	0.9	0.9	1.8	
本埜①	94	75.5	57.4	16.0	8.5	9.6	1.1	—	1.1	—	1.1	3.2	2.1	4.3	4.3	
本埜②	125	91.2	62.4	12.0	4.8	6.4	1.6	—	—	1.6	3.2	2.4	0.8	3.2	0.8	

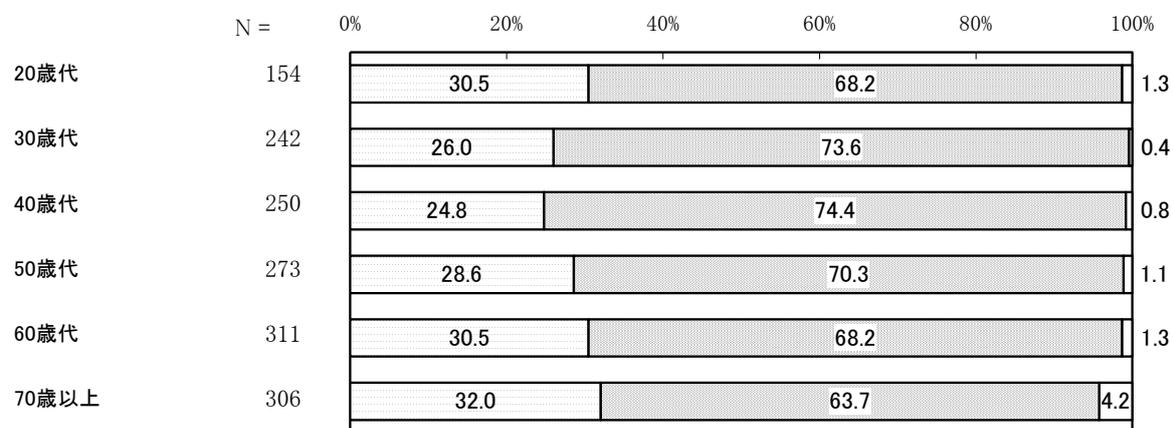
**問 10 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)**

「ある」の割合が 28.8%、「ない」の割合が 69.6%となっています。



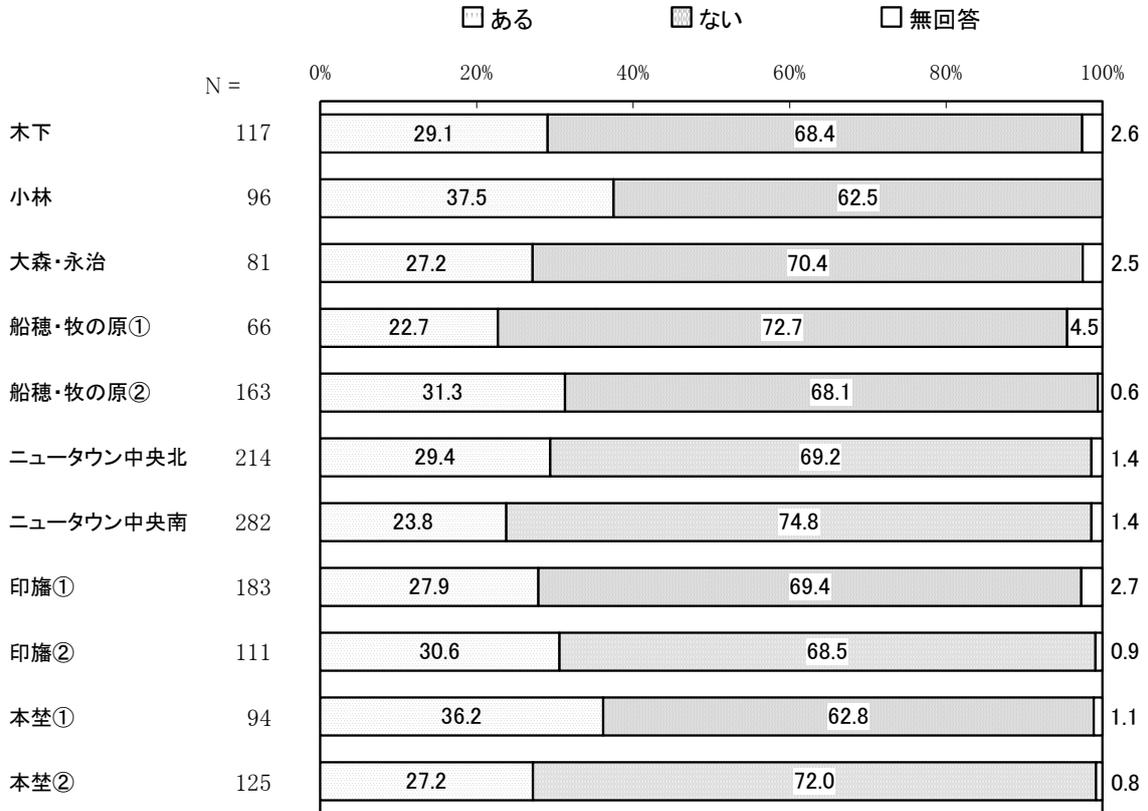
**【年齢別】**

年齢別で見ると、他の年齢に比べ、40歳代で「ある」の割合が低くなっています。



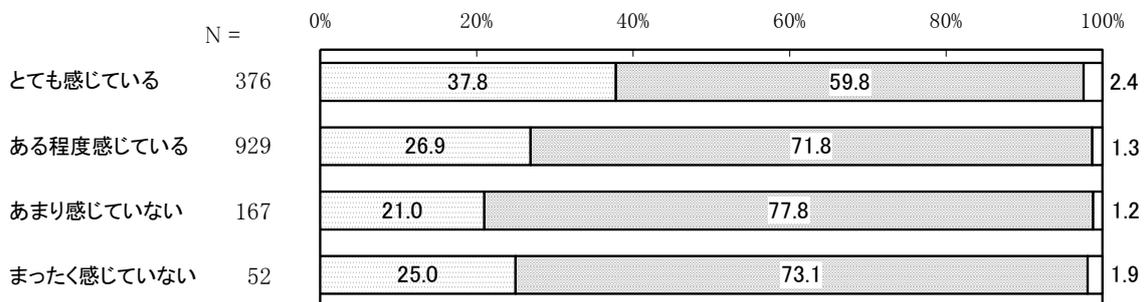
### 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、小林、本埜①で「ある」の割合が高く、約4割となっています。



### 【愛着度別】

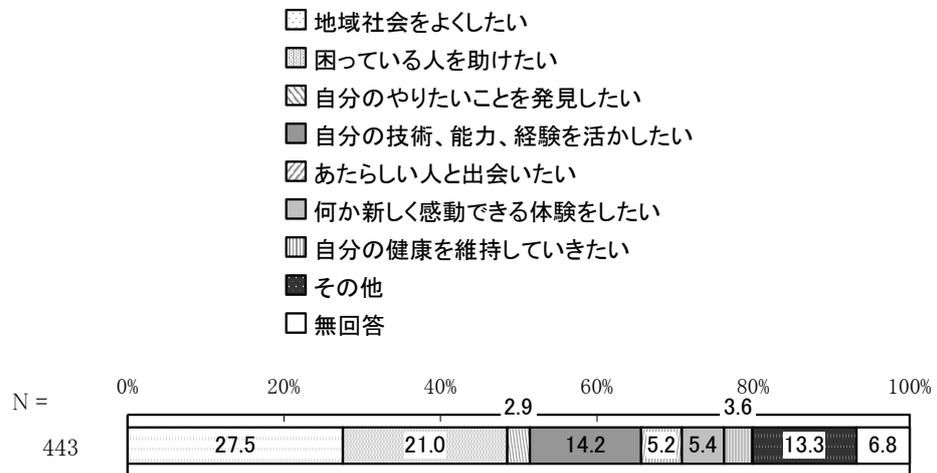
愛着度別で見ると、とても感じているで「ある」の割合が高く、約4割となっています。



問 10 で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

問 10-1 どのようなことが動機でしたか。(○は1つ)

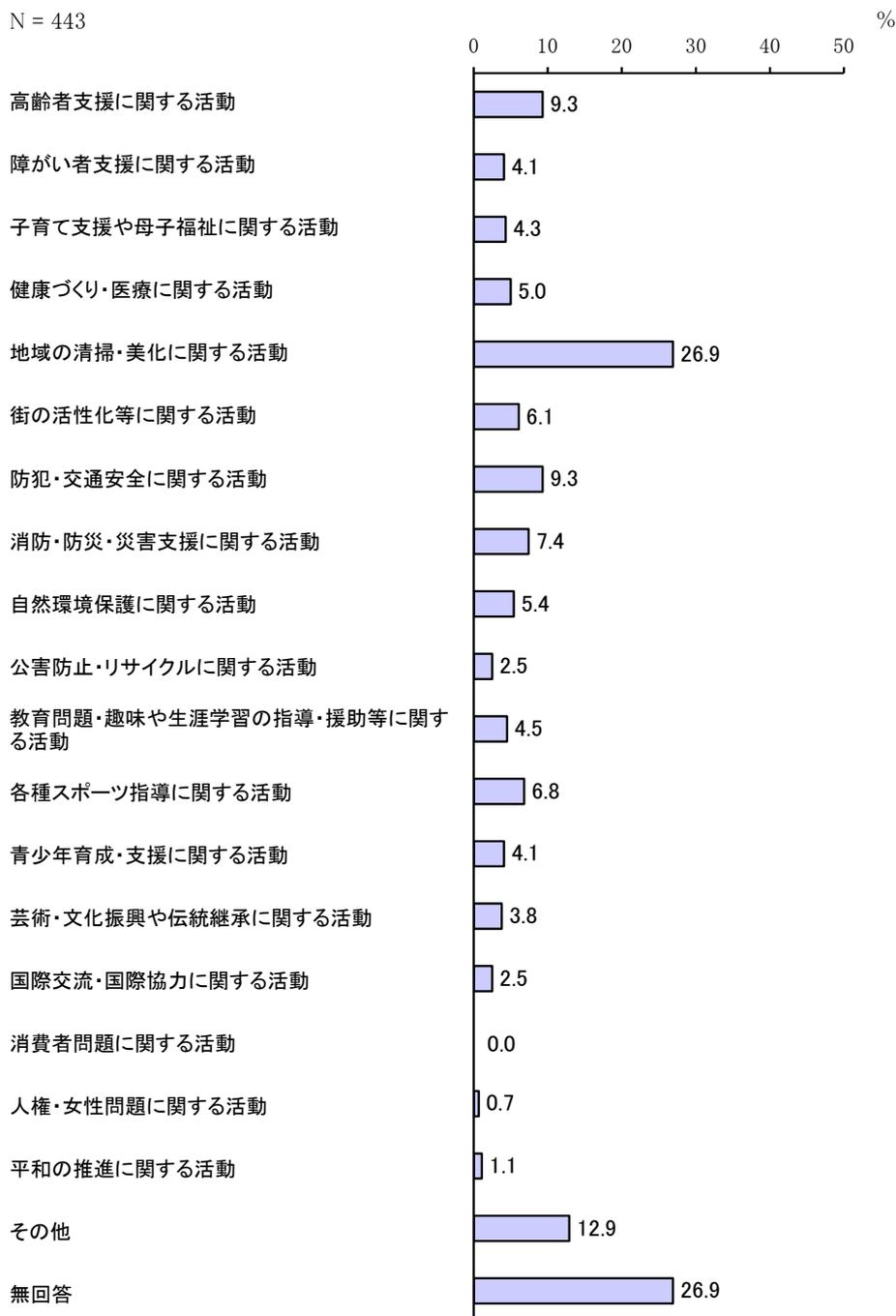
「地域社会をよくしたい」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「困っている人を助けたい」の割合が 21.0%、「自分の技術、能力、経験を活かしたい」の割合が 14.2%となっています。



問 10 で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

問 10-2 現在活動している方におたずねします。現在はどのような活動をしていますか。(該当するものすべてに○)

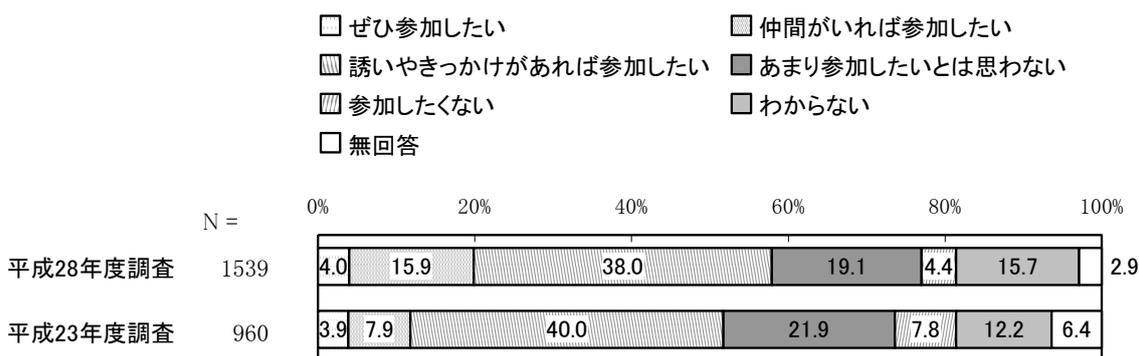
「地域の清掃・美化に関する活動」の割合が 26.9%と最も高くなっています。



**問 11 あなたは今後ボランティア活動や助け合い活動に参加したいと思いますか。  
(○は1つ)**

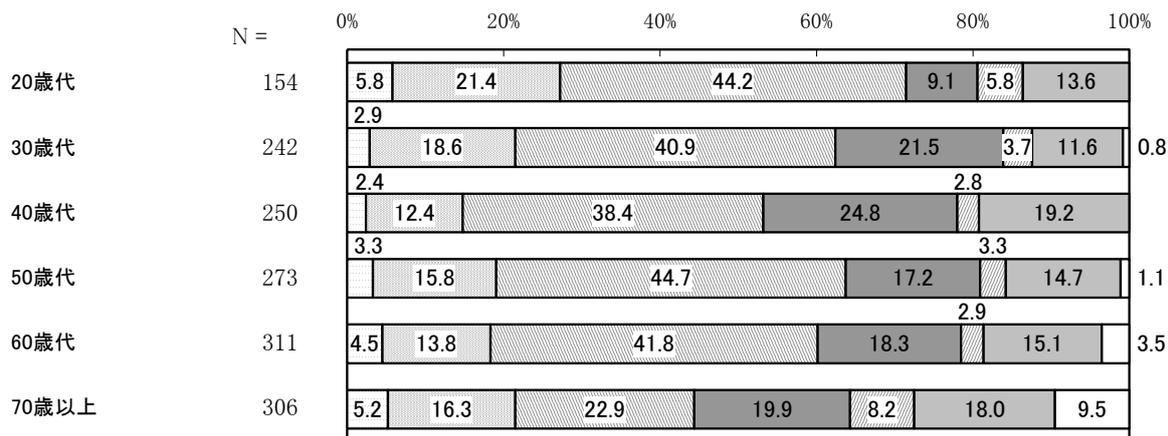
「誘いやきっかけがあれば参加したい」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「あまり参加したいとは思わない」の割合が 19.1%、「仲間がいれば参加したい」の割合が 15.9%となっています。また、「ぜひ参加したい」「仲間がいれば参加したい」「誘いやきっかけがあれば参加したい」をあわせた“参加したい”の割合が 57.9%、「あまり参加したいとは思わない」と「参加したくない」をあわせた“参加したくない”の割合が 23.5%となっています。

平成 23 年度調査と比較すると、「仲間がいれば参加したい」が 8.0 ポイント増加しています。



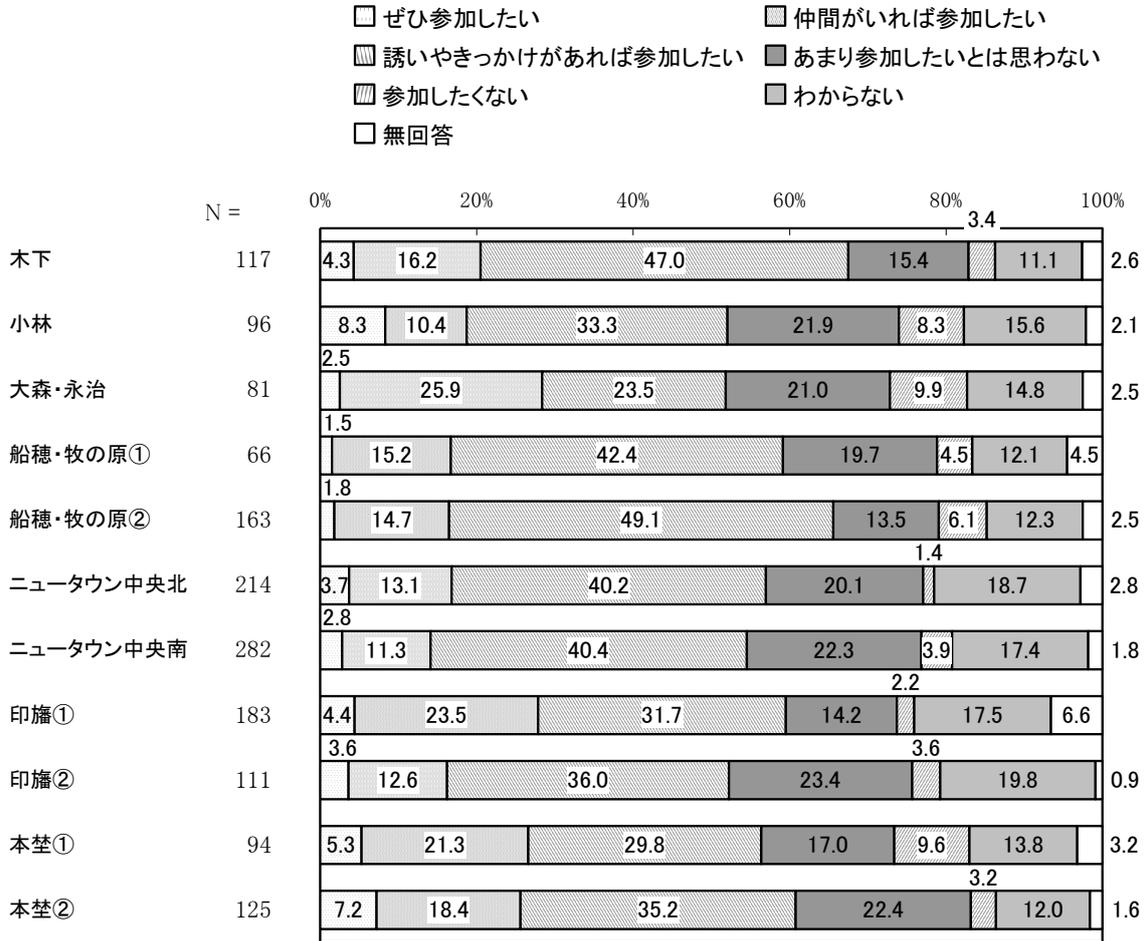
**【年齢別】**

年齢別でみると、他の年齢に比べ、20 歳代、30 歳代で「仲間がいれば参加したい」の割合が高く、約 2 割となっています。また、40 歳代、70 歳以上で“参加したくない”の割合が高く、約 3 割となっています。



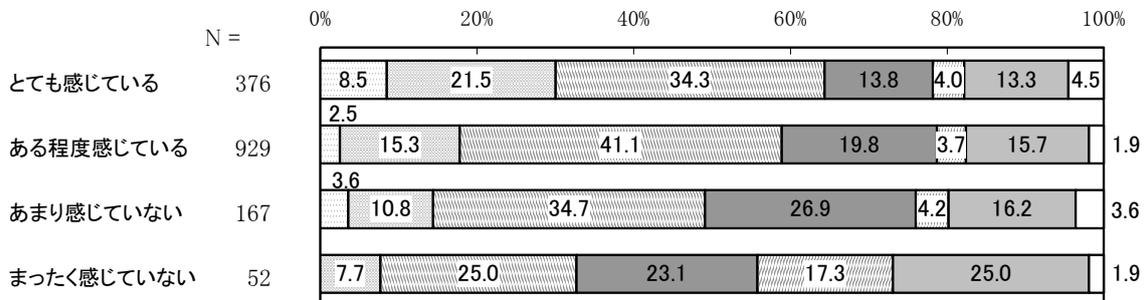
### 【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、木下で“参加したい”の割合が高く、約7割となっています。また、小林、大森・永治、印旛②で“参加したい”の割合が低くなっています。



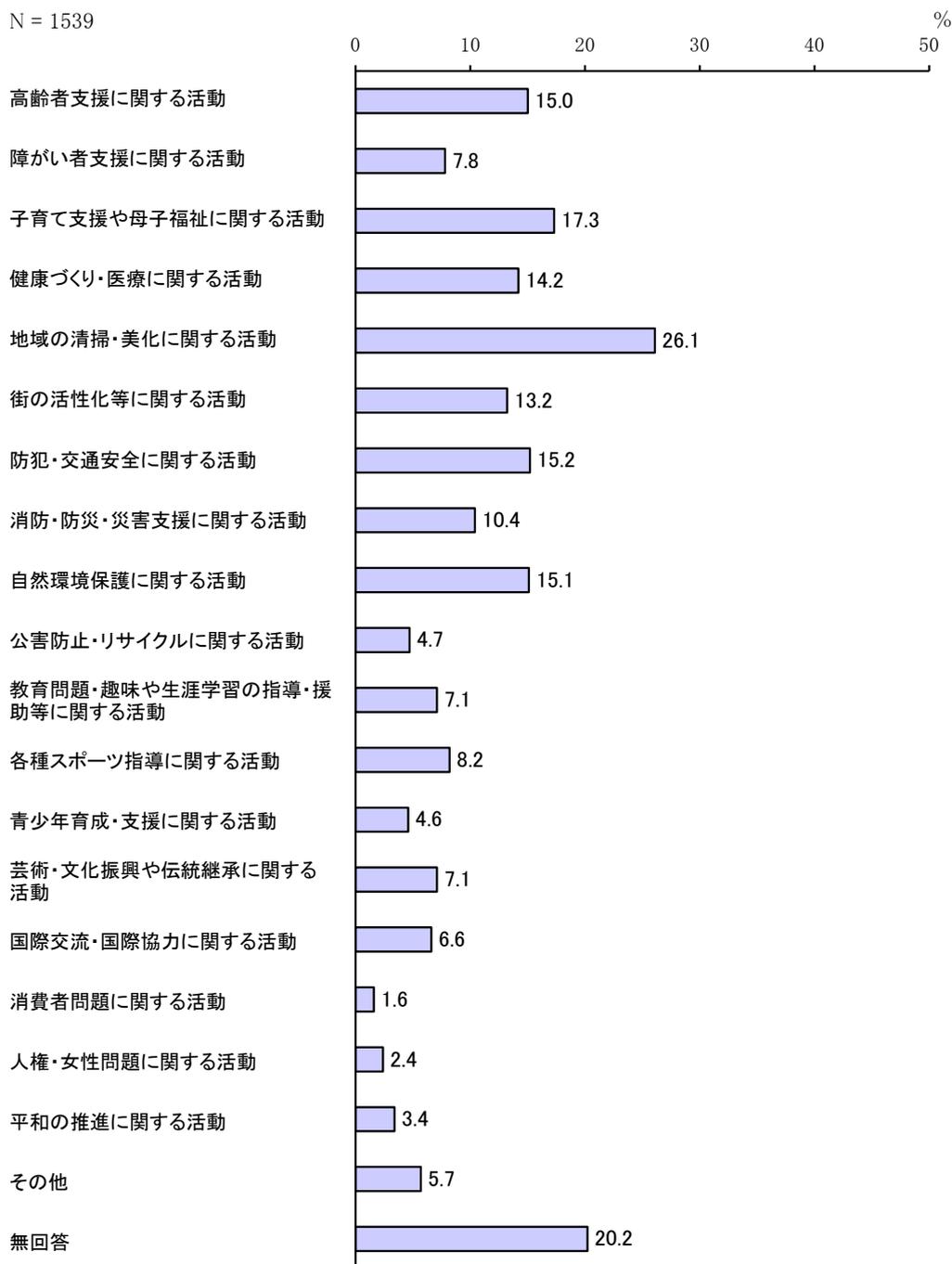
### 【愛着度別】

愛着度別で見ると、愛着を感じているほど“参加したい”の割合が高くなっています。



問 12 ボランティア活動や助け合い活動で参加したい活動はありますか。  
 (該当するものすべてに○)

「地域の清掃・美化に関する活動」の割合が 26.1%と最も高く、次いで「子育て支援や母子福祉に関する活動」の割合が 17.3%、「防犯・交通安全に関する活動」の割合が 15.2%となっています。



## 【年齢別】

年齢別でみると、他の年齢に比べ、30歳代で「子育て支援や母子福祉に関する活動」の割合が高く、3割を超えています。また、30歳代で「防犯・交通安全に関する活動」の割合が、20歳代で「各種スポーツ指導に関する活動」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

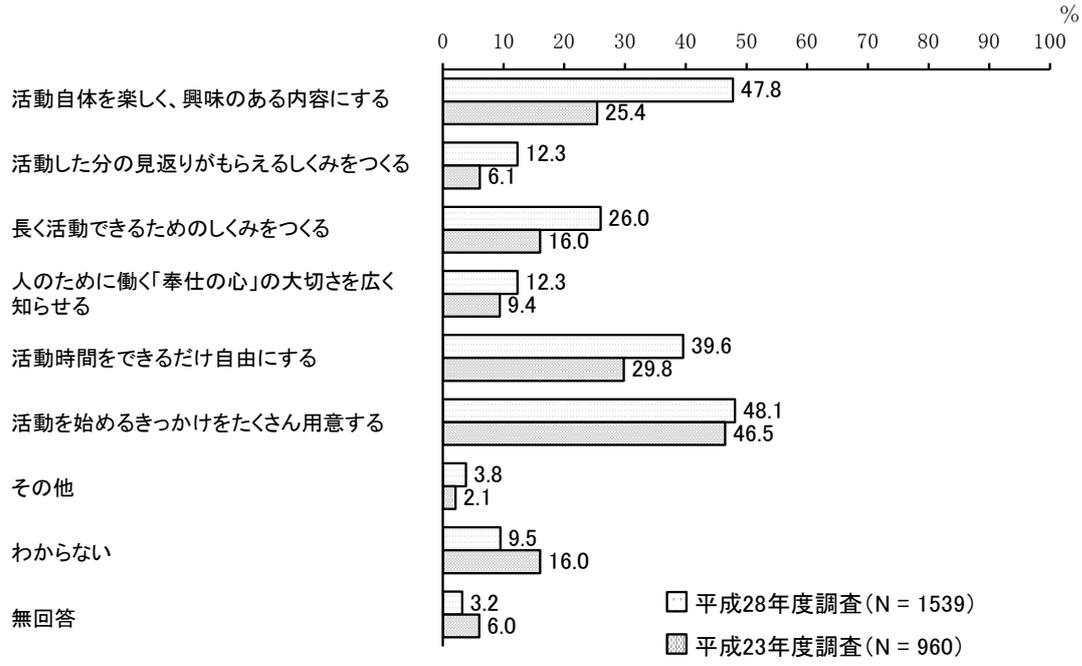
区分	有効回答数(件)	高齢者支援に関する活動	障がい者支援に関する活動	子育て支援や母子福祉に関する活動	健康づくり・医療に関する活動	地域の清掃・美化に関する活動	街の活性化等に関する活動	防犯・交通安全に関する活動	消防・防災・災害支援に関する活動	自然環境保護に関する活動	公害防止・リサイクルに関する活動
20歳代	154	13.0	7.1	23.4	9.7	26.6	16.2	10.4	9.1	14.3	5.8
30歳代	242	11.2	11.6	35.5	12.4	22.7	12.8	21.9	10.7	14.9	4.5
40歳代	250	14.4	11.6	24.4	16.4	26.0	13.2	15.2	12.4	14.4	4.4
50歳代	273	16.1	8.1	15.0	16.1	26.0	12.5	15.8	12.8	14.3	5.1
60歳代	311	19.3	7.1	11.3	16.7	30.9	14.8	14.5	11.3	18.3	3.5
70歳以上	306	14.4	2.6	2.3	12.1	24.2	11.1	12.7	6.2	13.7	5.2

区分	教育問題・趣味や生涯学習の指導・援助等に関する活動	各種スポーツ指導に関する活動	青少年育成・支援に関する活動	芸術・文化振興や伝統継承に関する活動	国際交流・国際協力に関する活動	消費者問題に関する活動	人権・女性問題に関する活動	平和の推進に関する活動	その他	無回答
20歳代	7.8	19.5	5.8	7.1	10.4	2.6	5.8	3.9	1.9	12.3
30歳代	6.2	9.9	5.0	7.0	10.3	1.7	2.1	1.7	3.7	16.5
40歳代	9.6	11.2	6.0	6.8	8.8	1.6	4.0	4.8	5.6	15.2
50歳代	8.8	7.0	4.4	10.3	5.9	1.5	1.5	1.8	5.1	17.2
60歳代	5.1	5.5	3.5	6.4	4.2	1.3	1.9	3.9	6.1	19.9
70歳以上	5.9	2.6	3.9	5.2	2.9	1.6	0.7	4.6	9.2	34.0

**問 13 たくさんの人にボランティア活動や助け合い活動に参加してもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。(該当するものすべてに○)**

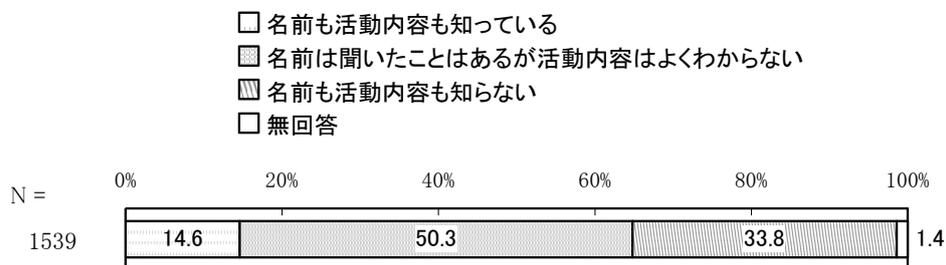
平成 28 年度調査では、「活動を始めのきっかけをたくさん用意する」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」の割合が 47.8%、「活動時間をできるだけ自由にする」の割合が 39.6%となっています。

平成 23 年度調査と比較すると、「活動自体を楽しく、興味のある内容にする」が約 20 ポイント以上増加しています。



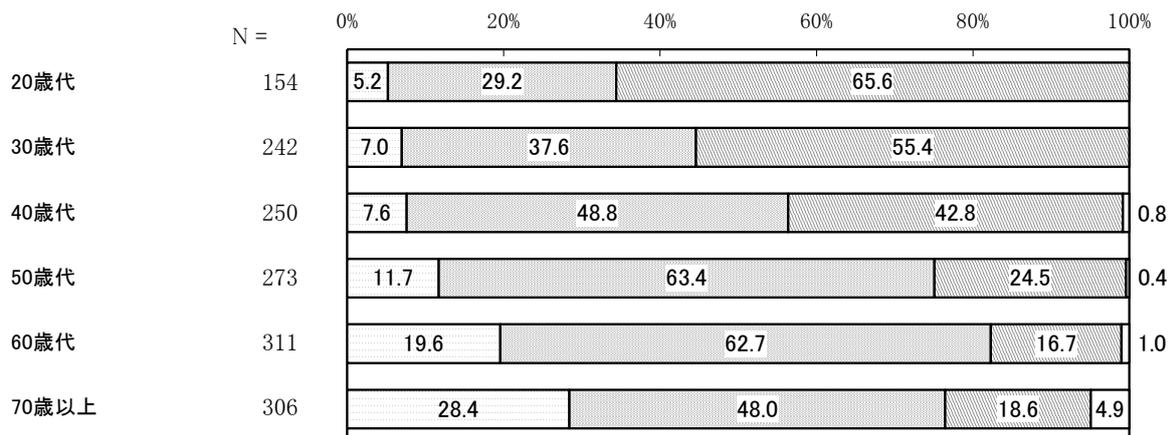
**問 14 印西市社会福祉協議会や支部社会福祉協議会をご存知ですか。(〇は1つ)**

「名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない」の割合が50.3%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知らない」の割合が33.8%、「名前も活動内容も知っている」の割合が14.6%となっています。



**【年齢別】**

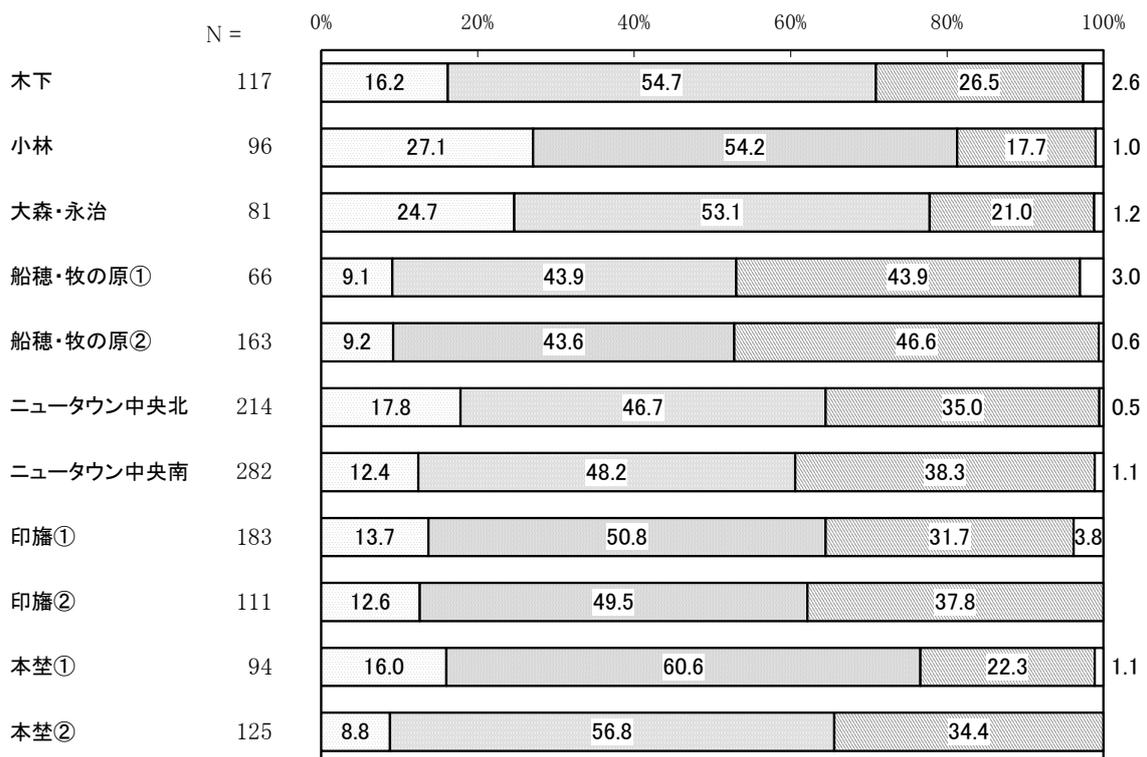
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「名前も活動内容も知っている」の割合が高く、「名前も活動内容も知らない」の割合が低くなる傾向がみられます。



## 【居住地区別】

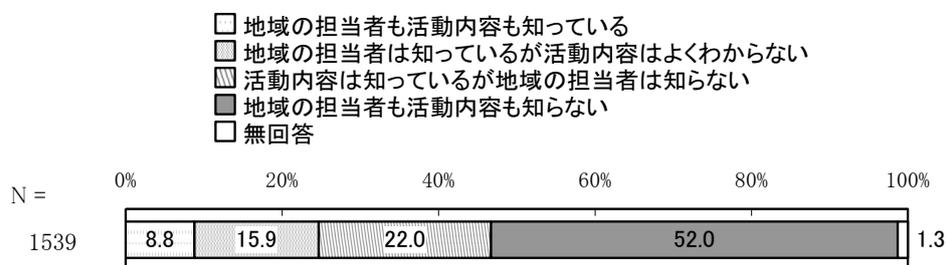
居住地区別で見ると、他の地区に比べ、小林、大森・永治で「名前も活動内容も知っている」の割合が高く、2割を超えています。また、船穂・牧の原①、船穂・牧の原②で「名前も活動内容も知らない」の割合が高く、4割を超えています。

- 名前も活動内容も知っている
- 名前は聞いたことはあるが活動内容はよくわからない
- 名前も活動内容も知らない
- 無回答



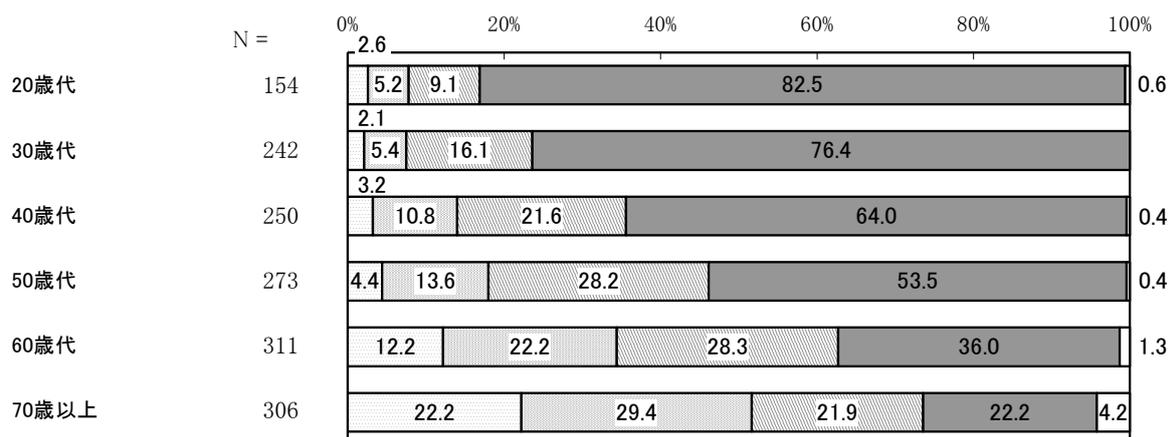
**問 15 あなたがお住まいの地域の民生委員・児童委員をご存知ですか。(○は1つ)**

「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「活動内容は知っているが地域の担当者は知らない」の割合が 22.0%、「地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない」の割合が 15.9%となっています。



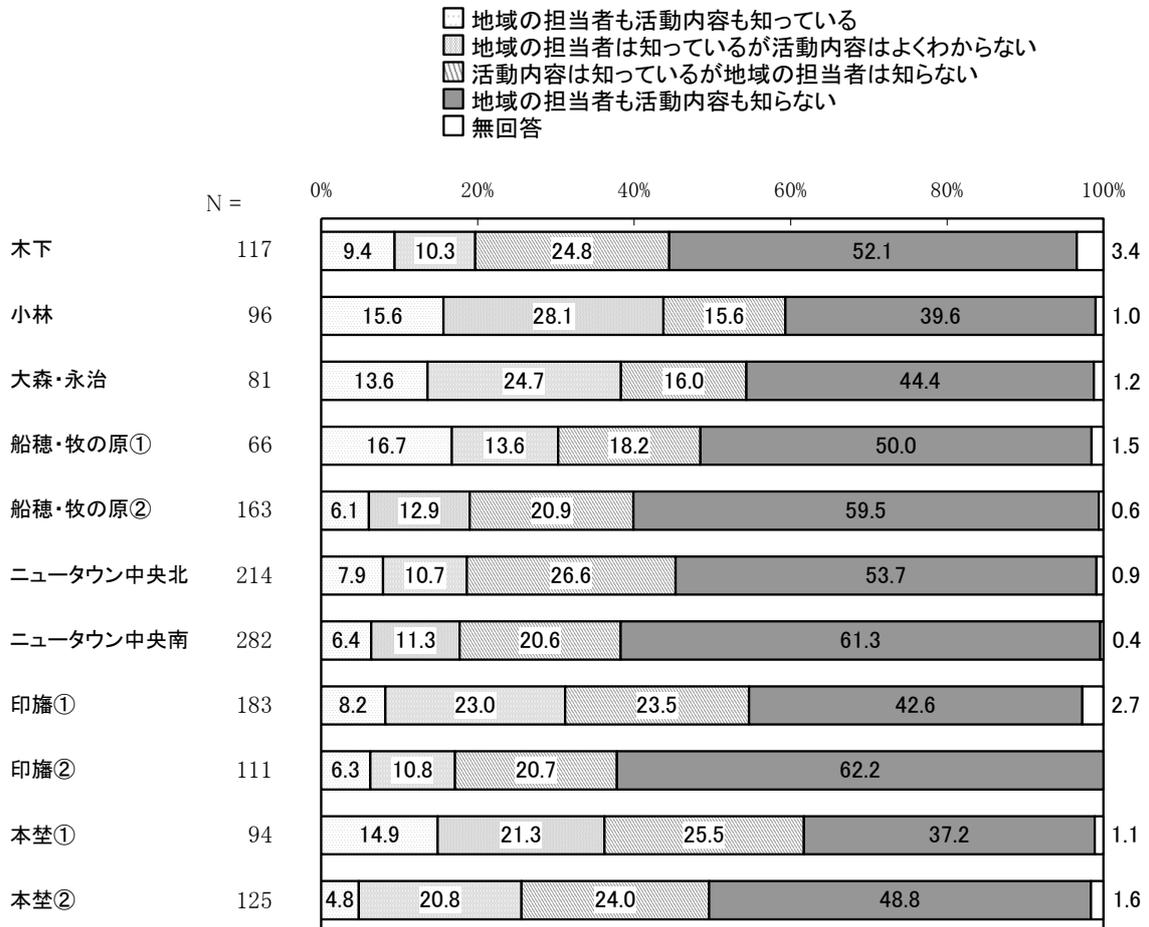
**【年齢別】**

年齢別で見ると、年齢が低くなるにつれ「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が高くなっており、20歳代で8割を超えています。



## 【居住地区別】

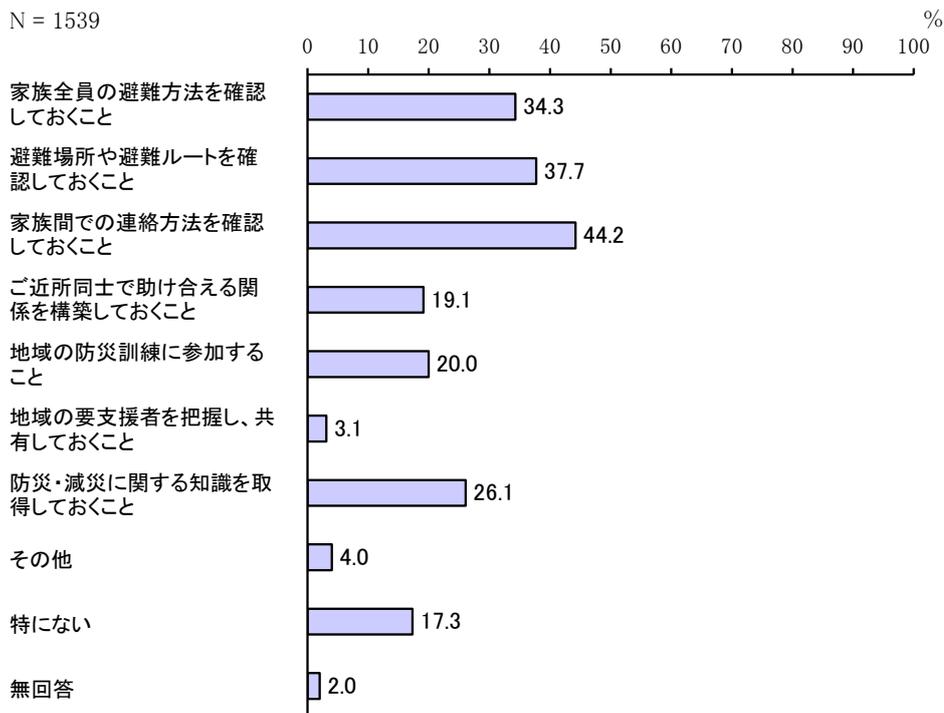
居住地区別で見ると、他の地区に比べ、小林で「地域の担当者は知っているが活動内容はよくわからない」の割合が高く、約3割となっています。また、船穂・牧の原②、ニュータウン中央南、印旛②で「地域の担当者も活動内容も知らない」の割合が高く、約6割となっています。



## 4 災害について

問 16 大地震などの災害等に備えて日ごろの生活の中で心がけたり、実施していることはありますか。(該当するものすべてに○)

「家族間での連絡方法を確認しておくこと」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「避難場所や避難ルートを確認しておくこと」の割合が 37.7%、「家族全員の避難方法を確認しておくこと」の割合が 34.3%となっています。



## 【居住地区別】

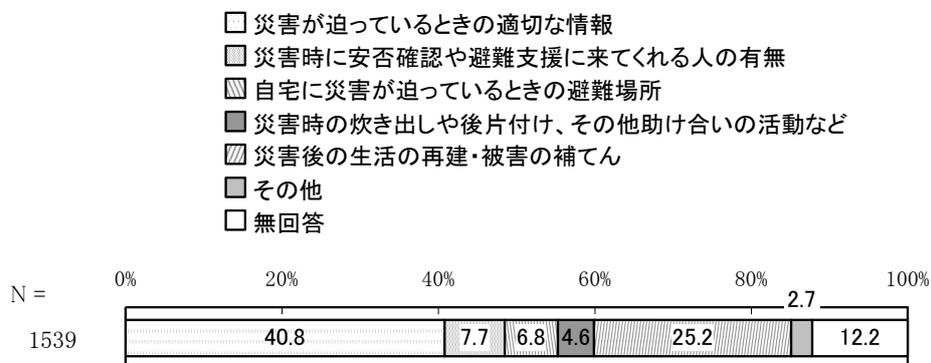
居住地区別で見ると、他の地区に比べ、木下で「家族全員の避難方法を確認しておくこと」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族全員の避難方法を確認しておくこと	避難場所や避難ルートを確認しておくこと	家族間での連絡方法を確認しておくこと	ご近所同士で助け合える関係を構築しておくこと	地域の防災訓練に参加すること	地域の要支援者を把握し、共有しておくこと	防災・減災に関する知識を取得しておくこと	その他	特になし	無回答
木下	117	47.0	42.7	48.7	20.5	21.4	3.4	28.2	1.7	10.3	1.7
小林	96	42.7	44.8	41.7	21.9	26.0	5.2	26.0	2.1	15.6	1.0
大森・永治	81	32.1	29.6	42.0	21.0	14.8	4.9	21.0	4.9	23.5	2.5
船穂・牧の原①	66	39.4	28.8	48.5	22.7	13.6	1.5	21.2	1.5	19.7	4.5
船穂・牧の原②	163	33.1	45.4	44.2	17.2	22.1	1.8	26.4	5.5	11.0	0.6
ニュータウン中央北	214	38.3	37.9	47.7	15.4	25.7	2.3	29.4	5.1	14.5	0.9
ニュータウン中央南	282	29.1	38.3	43.3	17.0	22.3	2.8	26.6	3.5	18.8	0.7
印旛①	183	26.2	29.0	35.5	24.6	8.7	2.7	25.1	3.8	24.0	5.5
印旛②	111	32.4	41.4	44.1	18.0	27.9	2.7	27.0	3.6	22.5	—
本埜①	94	28.7	28.7	41.5	21.3	8.5	3.2	19.1	3.2	24.5	4.3
本埜②	125	39.2	42.4	52.8	17.6	22.4	4.8	27.2	7.2	10.4	0.8

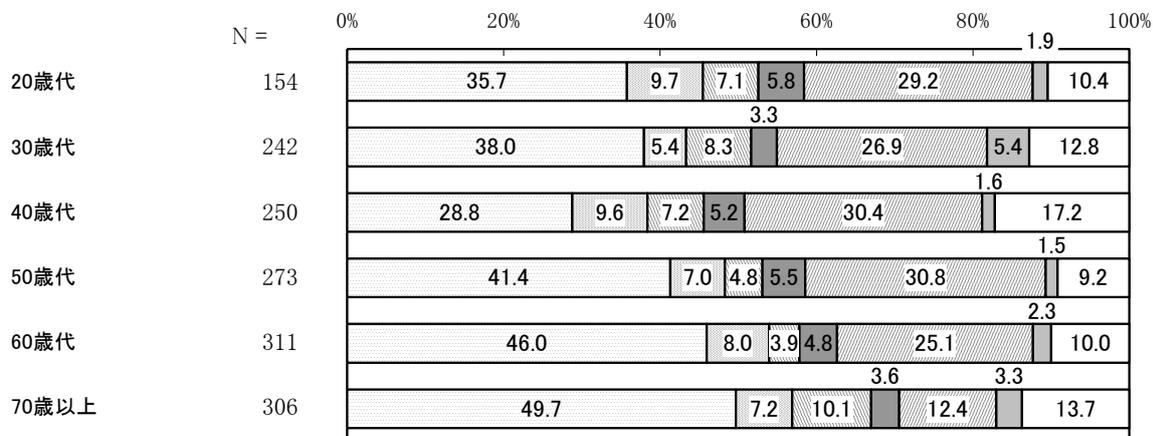
**問 17 災害が起こった時に特に不安に思うことはどれですか。(〇は1つ)**

「災害が迫っているときの適切な情報」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「災害後の生活の再建・被害の補てん」の割合が 25.2%となっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、他の年齢に比べ、70歳以上で「災害が迫っているときの適切な情報」の割合が高く、約5割となっています。また、70歳以上で「災害後の生活の再建・被害の補てん」の割合が低く、約1割となっています。

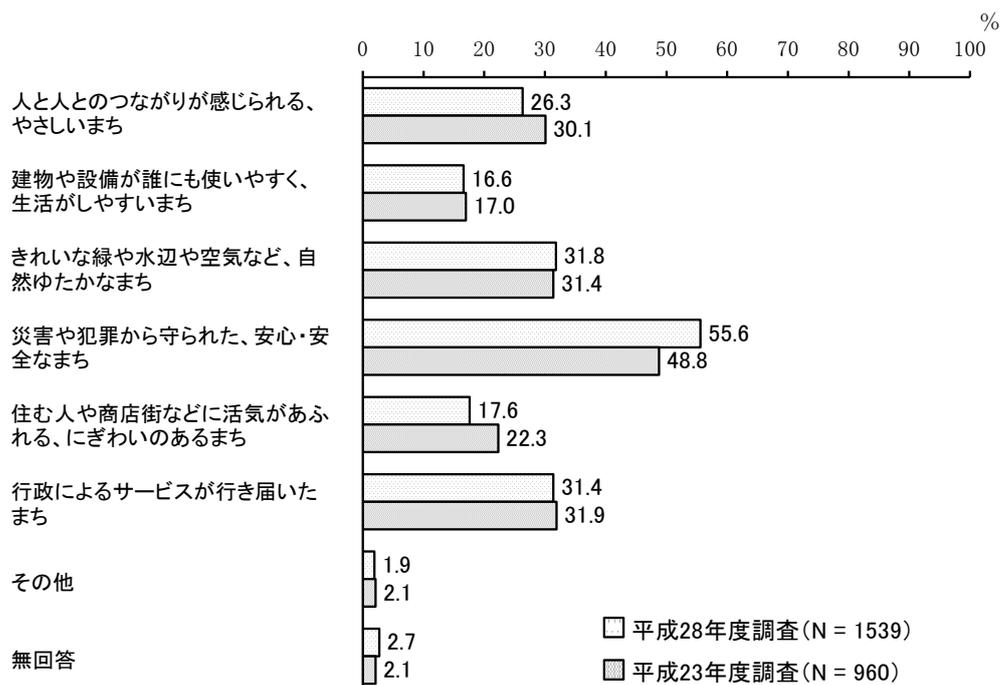


## 5 地域福祉の推進について

問 18 安心して暮らしやすい印西市にするために、将来、どのようなまちの姿をめざすべきだと思いますか。(〇は2つまで)

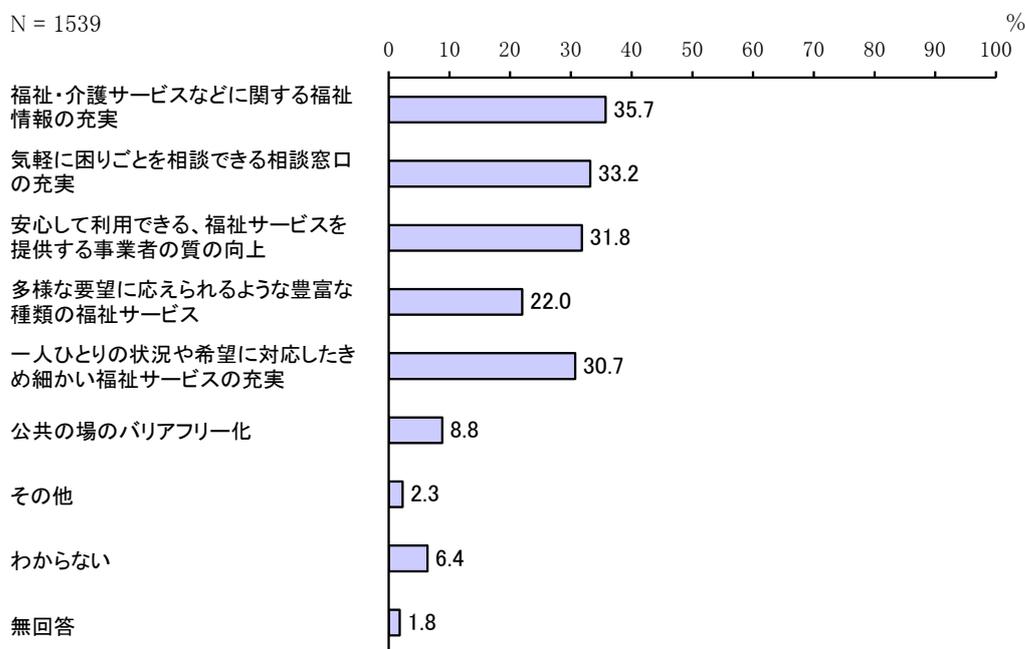
平成 28 年度調査では、「災害や犯罪から守られた、安心・安全なまち」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「きれいな緑や水辺や空気など、自然ゆたかなまち」の割合が 31.8%、「行政によるサービスが行き届いたまち」の割合が 31.4%となっています。

平成 23 年度調査と比較すると、「災害や犯罪から守られた、安心・安全なまち」が 6.8 ポイント上昇しています。



**問 19 印西市の福祉に必要なあるいは重要と思うことを選んでください。(〇は2つまで)**

「福祉・介護サービスなどに関する福祉情報の充実」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「気軽に困りごとを相談できる相談窓口の充実」の割合が 33.2%、「安心して利用できる、福祉サービスを提供する事業者の質の向上」の割合が 31.8%となっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「福祉・介護サービスなどに関する福祉情報の充実」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年齢に比べ、50 歳代、70 歳以上で「気軽に困りごとを相談できる相談窓口の充実」の割合が、20 歳代、30 歳代で「公共の場のバリアフリー化」の割合が高くなっています。

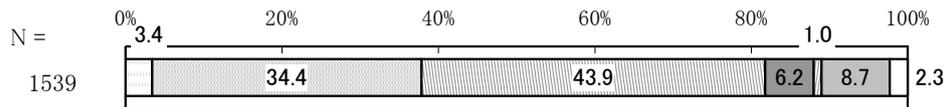
単位：%

区分	有効回答数 (件)	福祉・介護サービスなどに関する福祉情報の充実	気軽に困りごとを相談できる相談窓口の充実	安心して利用できる、福祉サービスを提供する事業者の質の向上	多様な要望に応えられるような豊富な種類の福祉サービス	一人ひとりの状況や希望に対応したきめ細かい福祉サービスの充実	公共の場のバリアフリー化	その他	わからない	無回答
20 歳代	154	29.2	24.7	29.2	22.1	24.7	17.5	3.9	10.4	0.6
30 歳代	242	27.7	27.7	28.9	26.4	36.4	18.2	2.9	6.6	0.4
40 歳代	250	32.0	32.0	34.4	22.4	30.4	10.8	3.6	7.2	0.4
50 歳代	273	37.4	37.4	34.8	19.8	36.3	4.8	1.1	4.4	1.1
60 歳代	311	41.8	32.2	32.8	27.7	28.0	4.2	1.0	5.8	1.0
70 歳以上	306	40.5	40.5	30.1	14.4	27.8	2.9	2.3	5.6	5.9

問 20 社会福祉サービスを充実させていくうえでの、行政と地域住民の関係はどうあるべきとお考えですか。(〇は1つ)

「行政も住民も協力しあい、福祉活動の解決のために、ともに取り組むべきである」の割合が43.9%と最も高く、次いで「行政の責任はしっかりととはたすべきだが、行政の手が届かない課題は住民も協力すべきである」の割合が34.4%となっています。

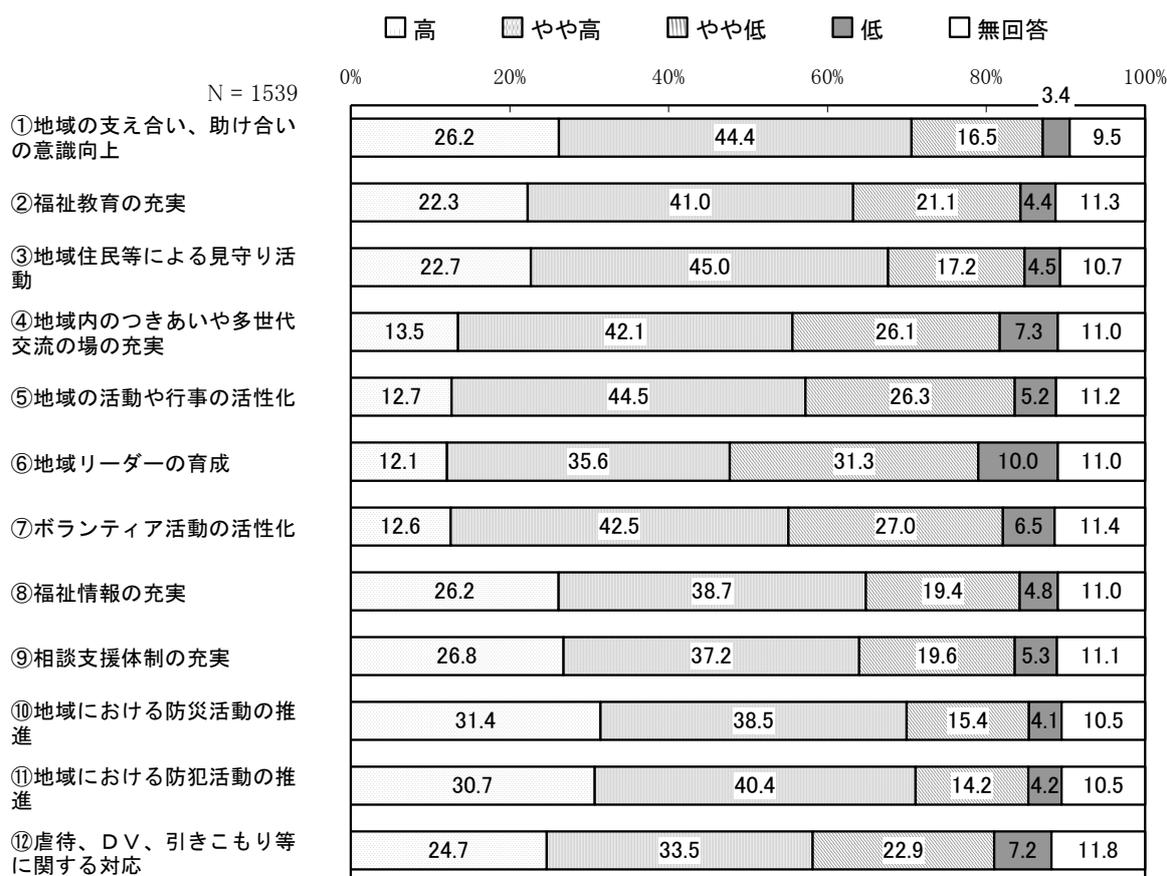
- 社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない
- 行政の責任はしっかりととはたすべきだが、行政の手が届かない課題は住民も協力すべきである
- 行政も住民も協力しあい、福祉活動の解決のために、ともに取り組むべきである
- まず、家庭内や地域の住民同士で助け合い、できない場合のみ行政が援助すべきである
- その他
- わからない
- 無回答



問 21 あなたは、次の①～⑫の項目について、どの程度重要だと思いますか。また、どの程度満足されていますか。あなた自身のお考えにもっともあてはまる箇所を、重要度と満足度からそれぞれ1つずつ選んでください。

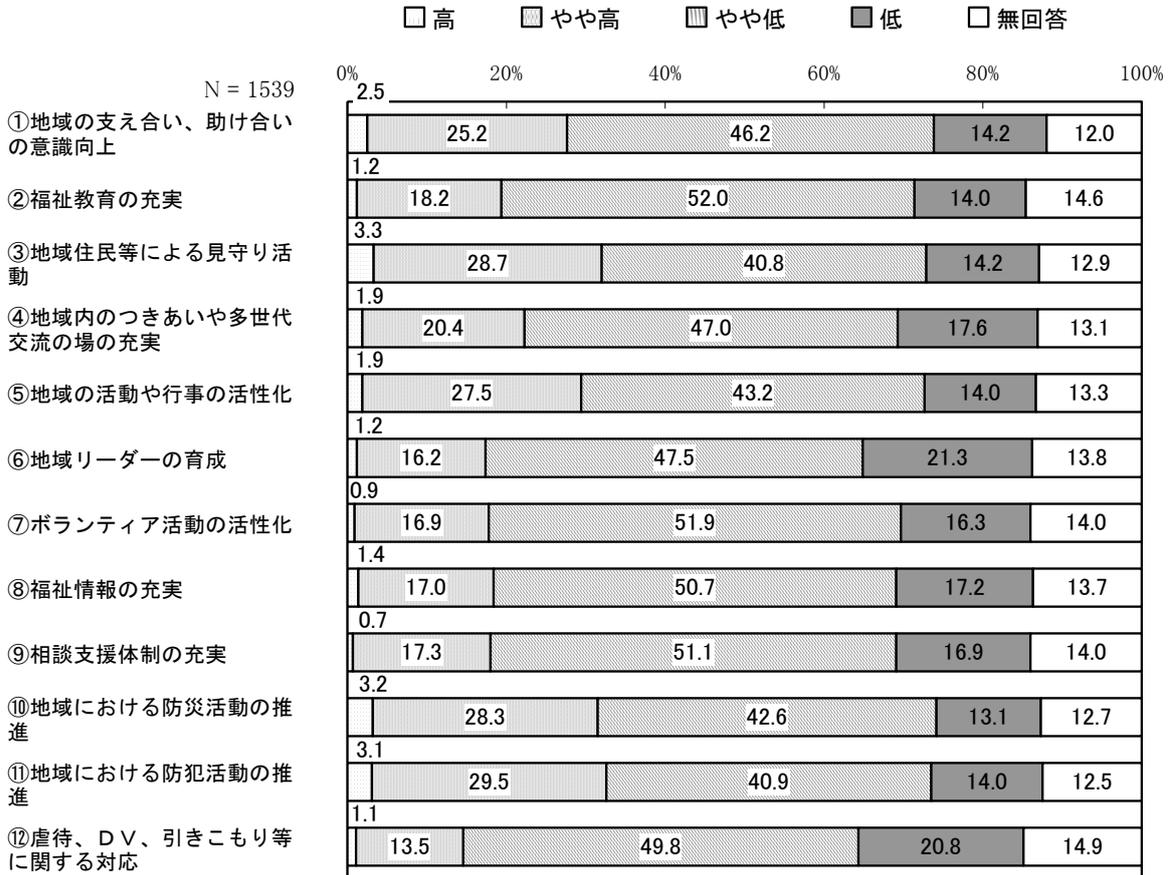
【重要度】

①地域の支え合い、助け合いの意識向上、③地域住民等による見守り活動、⑩地域における防災活動の推進、⑪地域における防犯活動の推進で「高」と「やや高」をあわせた“重要度が高い”の割合が高く、約7割となっています。また、⑥地域リーダーの育成で“重要度が高い”の割合が低く、5割未満となっています。



**【満足度】**

①地域の支え合い、助け合いの意識向上、③地域住民等による見守り活動、⑤地域の活動や行事の活性化、⑩地域における防災活動の推進、⑪地域における防犯活動の推進で「高」と「やや高」をあわせた“満足度が高い”の割合が高く、約3割となっています。また、⑫虐待、DV、引きこもり等に関する対応で“満足度が高い”の割合が低く、約1割半ばとなっています。



## 【ポートフォリオ分析による事業の重要度・満足度評価】

12項目の質問項目について、「重要度」と「満足度」を4つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

### ■重要度・満足度の得点化の手順■

重要度		得点		満足度		得点
高	→	3点		高	→	3点
やや高	→	2点		やや高	→	2点
やや低	→	1点		やや低	→	1点
低	→	0点		低	→	0点

### ■得点の算出式■

$$\frac{3 \times \text{「高」の回答数} + 2 \times \text{「やや高」の回答数} + 1 \times \text{「やや低」の回答数} + 0 \times \text{「低」の回答数}}{\text{無回答を除いた設問の回答総数}}$$

例えば、仮に全員が「高」を選んだ場合、その重要度の得点は3.00点になります。  
得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

■満足度の順位■

順位	事業名	得点
1	⑪地域における防犯活動の推進	1.25
2	⑩地域における防災活動の推進	1.25
3	③地域住民等による見守り活動	1.24
4	⑤地域の活動や行事の活性化	1.20
5	①地域の支え合い、助け合いの意識向上	1.18
6	②福祉教育の充実	1.08
7	④地域内のつきあいや多世代交流の場の充実	1.08
8	⑧福祉情報の充実	1.03
9	⑦ボランティア活動の活性化	1.03
10	⑨相談支援体制の充実	1.02
11	⑥地域リーダーの育成	0.97
12	⑫虐待、DV、引きこもり等に関する対応	0.94
<b>平均値</b>		<b>1.10</b>

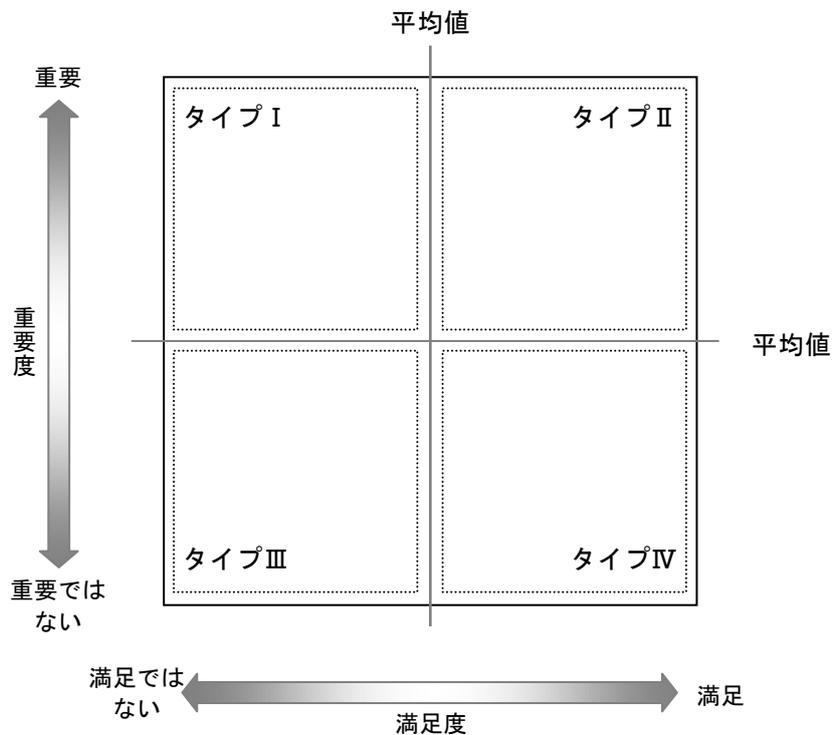
平均値以上  
↑  
↓  
平均値以下

■重要度の順位■

順位	事業名	得点
1	⑪地域における防犯活動の推進	2.09
2	⑩地域における防災活動の推進	2.09
3	①地域の支え合い、助け合いの意識向上	2.03
4	⑧福祉情報の充実	1.97
5	③地域住民等による見守り活動	1.96
6	⑨相談支援体制の充実	1.96
7	②福祉教育の充実	1.92
8	⑫虐待、DV、引きこもり等に関する対応	1.86
9	⑤地域の活動や行事の活性化	1.73
10	④地域内のつきあいや多世代交流の場の充実	1.69
11	⑦ボランティア活動の活性化	1.69
12	⑥地域リーダーの育成	1.56
<b>平均値</b>		<b>1.88</b>

平均値以上  
↑  
↓  
平均値以下

各項目の重要度・満足度得点の関係について、重要度と満足度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、重要度・満足度得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の事業の方向性について分析しました。



- ◆**タイプⅠ**                   **満足度は低い、重要度は高い**  
→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。
- ◆**タイプⅡ**                   **満足度は高く、重要度も高い**  
→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。
- ◆**タイプⅢ**                   **満足度は低く、重要度も低い**  
→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。事業の縮小や廃止などを含めた検討が必要。
- ◆**タイプⅣ**                   **満足度は高いが、重要度は低い**  
→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

### ○全事業のポートフォリオ分析

②福祉教育の充実、⑧福祉情報の充実、⑨相談支援体制の充実はタイプⅠ（重要度が高いにも関わらず満足度が低い）に属しており、今後一層施策充実が求められています。また、タイプⅡ（満足度、重要度ともに高い）に属している①地域の支え合い、助け合いの意識向上、③地域住民等による見守り活動、⑩地域における防災活動の推進、⑪地域における防犯活動の推進についても今後とも施策を充実していく必要性が伺えます。

